

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2023

変化を進化に

福島がもっと好きになる。



公立大学法人

福島県立医科大学

1-Hikarigaoka Fukushima-city Fukushima 960-1295 Japan
TEL 024-547-1111 <https://www.fmu.ac.jp>



新しい時代の
医療人になろう。



START UP!

医療に携わる道を進んでいく中で、
 もしかしたら大きな壁が立ちふさがるかもしれません。
 振り返ると、東北で信じられない自然災害が起こりました。
 振り返ると、世界中を巻き込む感染症が流行しました。
 誰もが言葉にできない不安に苛まれました。
 それでも時間は進んでいきます。
 同じように医療の時間も止めてはいけません。
 医療のチカラができることを信じ、
 少しずつでも前に進むしかないので。
 その先にしか新しい時代はないのですから。
 変化を進化に、その先へ。
 そう、あなたが歩む道は新しい時代へとつながっています。

CONTENTS

CROSS TALK ① 光が丘キャンパス編	03
CROSS TALK ② 福島駅前キャンパス編	05
STAGE 憧れの医療現場で働く先輩からのメッセージ	07
数字で見る福島県立医科大学	09
教えてセンパイ! 気になるキャンパスライフのコト	11
学長メッセージ・福島県立医科大学の理念	13
学部インデックス	15
医学部	17
看護学部	21
保健科学部	25
別科助産学専攻	31
大学院	33
医療人育成・支援センター	37
RESEARCH STORIES_研究紹介	44
CLUB&CIRCLE	45
CAMPUS MAP	47
FACILITIES_各種センター・施設	49
DATA_データで見る福島県立医科大学	51
WEB OPEN CAMPUS	54



福島県立医科大学の
シンボルマーク

福島県立医科大学らしさ (University Identity: UI) を視覚化したもので、
緑とサクラとFの文字を組み合わせています。[平成20年11月2日制定]



医学部3年
川森 結貴さん
(千葉県出身)

看護学部3年
稲田 蓮さん
(福島県出身)

いいところ、教えます！

福島県立医科大学の

CROSS TALK 01

【光が丘キャンパス編】医学部×看護学部

私たちが、福島県立医科大学を選んだ理由。

稲田 お互い3年生だけど「はじめまして」だね！医学部と看護学部は同じキャンパスだけど、なかなか交流ないからね…。

川森 一緒になるのは部活とサークルくらいだよー！それもコロナの影響があって今年になってやっと本格化した感じかな。もっと交流できたらいいのにね！蓮さんは福島出身でしょ？やっぱり地元で大学だから福島県立医科大学に来たの？

稲田 私はテレビドラマのコードブルーがきっかけで、災害医療に興味を持って。東日本大震災の被災地にある大学だからこそ、その経験を活かした救急クリティカルケアが学べるとして志望し

たの。

川森 すごい偶然！私もコードブルーや東日本大震災をきっかけに災害医療や救急医療に興味を持ってここにきたんだ。あとは放射線や被ばく医療など、原発事故があった福島ならではの学びがあると思ったのも理由の一つかな。

稲田 実際、入学してみても看護学部は思いやりがあって話しやすい雰囲気の子が多いなって印象。グループワークでも自分の考えを積極的に伝え合うから、自分では考えつかないような発見もあったりして。あとは同じ看護の道を目指しているから、気が合いやすくて居心地がとっても良い！

川森 なるほどね。医学部は、志は同じだけどそ

れ以外のことに関してはけっこうみんなそれぞれな印象。勉強、遊び、部活、バイト、いろんなことに対してやる気に満ち溢れていて、各々の予定に合わせてメリハリつけて学生生活を送っているから、みんなすごいな〜って思っている。

福島県立医科大学ならではの学びを実感。

稲田 印象に残っている授業はある？

川森 1年生の後半に受けた「福島学」かな。私は千葉県出身で福島のことを全然知らなかったから、とても楽しかった！医療に関わらず福島のいろいろな分野の方が講義してくださって、改めて福島に来たことを実感した授業だったよ。

稲田 私は3年生からはじまった「救急クリティカルケア」。興味があるからこそ楽しくて！実際に

附属病院でフライトナースとして活躍している看護師の講義を受けることができるから、実際の現場がどういうものなのか知ることができる貴重な機会なんだよね。

川森 興味があるからこそ楽しいってすごく分かる！高校は大学受験のための勉強って感じが強かったけど、大学は興味がある分野をより深く学べるし、特に先生の専門分野だと詳しくすぎるくらい！あとは海外経験のある先生が多いから、そういう経験談も聞くことができたり。とにかく専門的だし、それを学びたくて来ているから楽しいよね。

稲田 附属病院で働く医師や看護師からの講義を受けられるのは、この大学で良かったと思うこ

との一つだね。例えば「災害看護学」は、震災当時、看護師としてボランティアに参加した先生が担当なの。教科書だけだとなかなか想像が膨らまないけど、実際に経験した方の講義を受けると、災害看護の細かいところまで知ることができるから、より学びたい気持ちも高まるんだよね。

川森 医学部も放射線の授業は、原発事故で被ばくされた患者さんを実際に診て、震災当時も今も最前線で活動している先生が講義してくださるから、すごく心に残る。当時の状況や報道の間違いなども知ることができて、驚くこともあったけど、「正しく怖がること」を学ぶことができたと思う。

私たちが、卒業後に叶えたい夢。

稲田 卒業後はどうするか、もう決めている？

川森 研修でいろいろな科をまわってからもう一度考えるけど、今のところはもともと興味があった災害医療や救急医療に従事したいと思っているよ。私は地域枠で入学したから、福島の医療機関に勤務して医師不足解消に貢献したい。もちろん起こっては欲しくないけど、もし災害が起きてしまった時には今学んでいることを活かして、一人でも多くの命を救いたいな。

稲田 私もやっぱり災害医療がキーワードかな。災害の現場で、患者さんだけでなくその家族も含めて、看護師として安心感を与えられるような存在になりたいと思っている。そのためにはしっかりと知識と、何事にも動じない心、忍耐力を身につけていきたいな。お互いががんばろうね！



理学療法学科2年
池田 充輝さん
(山形県出身)

作業療法学科3年
五十嵐 雪菜さん
(福島県出身)

診療放射線科学科2年
嶋山 嵩志さん
(福岡県出身)

臨床検査学科2年
仲條 陽登さん
(福島県出身)

保健科学部の魅力って
こんなところなんです。

CROSS TALK 02

〔福島駅前キャンパス編〕

理学療法学科×作業療法学科×診療放射線科学科×臨床検査学科

私たちが、福島県立医科大学を選んだ理由。

五十嵐 小学生の頃から作業療法士を目指していた私にとって、中学生の時に配られた福島県立医科大学学部新設のプリントがすごく印象に残っていて。当時福島県内には作業療法について学べる大学はなかったし、数えてみたらちょうど私が1期生になれる!と思って、そこからずっと志望校は変わらずここ一本。私は福島出身で県内で学べることに魅力を感じたけど、みんなはどうしてここを志望したの?

仲條 僕も福島出身で、東日本大震災を経験しているので地元で貢献したいという想いが強くて。臨床検査技師には中学生の頃から興味を持っていたから、地元で学べるなら!と思って志望したよ。

池田 僕はずっとやっていた野球がきっかけで理学療法士を目指すようになったんだけど、地元で山形を出たくて、県外で理学療法士の勉強ができる大学を探していたんだ。地元からの距離感も丁度良くて、ここに決めたいよ。

嶋山 僕も野球でのケガがきっかけで、診療放射線技師の仕事に興味を持ったんだ。僕は福岡出身でもちろん九州でも放射線については学べるけど、放射線災害があった福島の大学ならほかでは学ぶことのできない災害関連の放射線について学べると思ったんだよね。

五十嵐 実際通ってみてどう?

嶋山 やっぱり放射線災害の研究を専門とする先生もいるから、最新の知識を幅広く深く学べ

ている。あとは設備が最新!

仲條 確かに!臨床検査学科は実習がけっこう多いんだけど、そこで使う機械が充実しているすごいと思った。保健科学部の魅力の一つかもしれない。

大学生生活の中で出逢いがあり、学びの中に発見もある。

池田 僕は野球サークルに入っているから保健科学部の人とはけっこう仲良くなれたけど、みんなは他学部・他学科の学生と交流ある?

仲條 僕はバレーボール部で光が丘キャンパスに行くから、他の学部との交流もある方だと思う。

嶋山 僕は寮に住んでいて、光が丘キャンパスの準硬式野球部にも入っているから、そこで他学部の学生とも会うかな。

五十嵐 私も寮に住んでいるから、他学部や他学科の先輩からたくさん話を聞いているよ。でもあんまりみんながどんな授業を受けているかは分からないよね。どんな授業が印象に残っている?

仲條 「コミュニケーション論」と「ライフデザイン」かな。人とのコミュニケーションや自分の人生について授業で取り上げるのは新鮮だった。

嶋山 県内のいろいろな場所に行ったり、福島の歴史を学んだりする「福島県を知る」という授業は、県外出身者の僕にとっては印象的だったな。

池田 「解剖学実習」ではじめてご遺体を解剖した時は怖かったけど、実際に自分の目で人体の構造を観察することでより理解が深まった気がする。いろいろ戸惑うこともあるけど、興味がある

分野を選んで勉強しているから、新しい発見もたくさんある。

五十嵐 確かに。あと高校と決定的に違うのが、先生方が大学の先生である以前に、自分が目標としている職業の免許を持っている大先輩なんだったということ。そう思うと話の重みも全然違うし、授業への気合いの入り方も変わるよね。

卒業後は、コレが私の目指す道。

仲條 みんなは卒業後の進路について、もう考えている?僕は臨床検査技師としてすぐに現場に出て、即戦力として活躍したいと思っている。その中で、いろいろな資格を取って大学で教えたり、科教研で臨床検査のスキルを活かすことも視野に入れていこうかなと。

池田 僕も卒業後は理学療法士として病院や施設に勤務しようと思っている。その後、大学院に進学してスポーツ障害についての研究などしてみたいな。

嶋山 僕はできれば大学院で放射線をより深く学んだ上で診療放射線技師になりたい。そしてきれいな画像を撮り、病気を確実に見つけることが目標かな。

五十嵐 実は作業療法士って働く場所がいろいろあるんだよね。私は、発達障害の子どもに対して生活しやすいように支援する学校コンサルテーションにも興味があるし、老年期や高次脳機能障害の領域も気になってまだ迷い中。みんなの2、3年後が楽しみだね!



勉強や部活動に集中できる環境の中、
学べたことが今の財産です。

実は友人から誘われたことがきっかけで看護師を目指しました。地元が福島だったこと、勉強や部活動に集中できる環境であることから本学を選びました。看護学部は医学部の学生との交流も盛んで、異なる職種の方から学ぶ機会が多く自身の為になったことがたくさんありました。また働きながら長期履修制度を利用して仕事と勉強を無理なく両立できると思い、大学院へ進学しました。現在は整形外科の病棟で、怪我や骨の疾患を抱える人の回復へのサポートをしています。そのような人が良くなった姿を見れることに日々やりがいを感じています。

福島県立医科大学附属病院 勤務
副主任看護技師
西牧 直人さん
(看護学部 2014年度卒業)



STAGE

— 夢のつづき —

憧れの医療現場で働く先輩からのメッセージ



医師になるための勉強は膨大ですが、
同じ道を志す仲間がいたから頑張れる。

私が勤務する脳神経内科には、診断することも難しい症例が集まります。しかし、診断しなければ治療も慎重にならざるを得ないためバランスをとって診療するのが難しいこともあります。また、有効な治療方法がない難病を扱うことも多く、そのような患者さんとの向き合い方に悩むこともあります。それでも、少しでも症状が良くなるように医局員の方々と協力しながら診療する日々は大変ですが、人の助けになる医師という仕事の誇りを実感しています。思えば大学時代、同じ道を志す仲間と切磋琢磨できたから今があると思います。

福島県立医科大学附属病院 勤務
専攻医
小泉 大祐さん
(医学部 2020年度卒業)



数字で見る 福島県立医科大学

医療系の総合大学に進化した本学の魅力を、数字をキーワードにみてみませんか。地域に寄り添い、多くの人材を育成し続ける理由がそこにあります。



創立 **1947** 年

福島県立医科大学は、昭和19(1944)年創設の福島県立女子医学専門学校を基盤として、昭和22(1947)年に旧制医科大学が設立されたことに始まります。今では医学部・看護学部・保健科学部の3学部6学科及び別科を有する医療系の総合大学に進化し、地域に寄り添いながら福島県の医療を牽引する役目を担っています。



学生数 (令和5年5月1日現在)

大学学生数

1,592 人

大学院学生数

277 人



全国各地から個性豊かな学生が集い、高度で先進的な活動や研究に取り組み、地域の発展に尽力できる医療人として成長しています。



学位授与者数 (令和4年)

博士(医学)

39 人

修士

18 人

福島県全体の医療水準を向上させる臨床研究・治験ネットワーク中核的研究拠点を目指し、大学の特色を生かした独創的な研究が数多く行われています。

合格率 (令和5年実施)

医師国家試験

95.5 % 

看護師国家試験

97.6 % 

保健師国家試験

97.6 % 

助産師国家試験

100 % 

多彩な専門領域の中で活躍できる多くのスペシャリストを福島県立医科大学は数多く輩出しています。

県内就職者

医学部

66.4 %

看護学部

66.2 %



自然豊かな環境の中で学び、充実した大学生活を通して、福島県の地域医療に貢献する多くの人材を育成しています。

教えて

センパイ!

気になるキャンパスライフのコト



大学には
みんなどうやって
通っているの？

光が丘キャンパス

福島市の中心部から車で約20分の丘陵地にある光が丘キャンパス。1年生は路線バスや自転車通学がほとんど。2年生からは自家用車で通うこともできます。ただし、自分で近くに駐車場を借りる必要があります。3年生からは学校内の駐車場が使えます。



大学でアパートは
紹介してくれる？

合格者は福島医大生向けの物件の情報サイトが閲覧可能です。そこで見つけてもいいし、学生寮もあるので、自分のスタイルにあった住まいを探すのがオススメです。

福島駅前キャンパス

駅前の好立地ということもあり、徒歩や自転車を使って通う学生が全体の6割。アクセスが良いこともあり、在来線通学が25%、中には新幹線で通学している学生も8%と意外に多いです。



履修科目はどうやって
決めてるの？

必須科目が多いですが、シラバスを確認し担当学科の教員と相談しながら科目を決めている学生がほとんど。福島医大は学年担任制を導入しているの、困ったときや分からないことは、学年担任の先生に相談するのがよいでしょう。もちろん友人や先輩に聞くのもオススメです。

福島は
やっぱり寒い？



福島市は盆地のため夏は蒸し暑く、冬は冷たい風が吹き積雪もあります。春先でもコタツが必要な日もあるとか。雪の量は年によって違いますが、自転車で通えなくなる日もあり、雪対策をしっかりとることがポイント。

みんなサークルに
入っているのかな？

光が丘キャンパス、福島駅前キャンパス共に、多くの学生がサークルに所属しています。忙しいと感じる大学生活ですが、アクティブに活動している学生も多くいます。勉強も大切ですが、大学生活をenjoyすることも大切。



一人暮らしの住まいは
どうしているの？

光が丘キャンパス

福島駅周辺や大学周辺に住んでいる学生が多いです。通学時間は30分未満で、家賃は3万円～5万円前後が主流です。

福島駅前キャンパス

福島駅周辺に住んでいる学生がほとんど。通学時間も30分未満の人が7割を占めます。家賃は3万5千円～5万円前後の物件に住んでいる人が多いです。

ランチは学食？
それともお弁当？

光が丘キャンパス

学食やキャンパス内のコンビニを利用する学生に加え、手作り弁当を持参する学生も多くいます。

福島駅前キャンパス

学食が無い代わりに、お昼休みにエントランスホールでお弁当・パンの販売があります。コンビニや近くの飲食店を利用する学生もいますが、お弁当持参が約6割と意外に多いです。

アルバイトは
しているのかな？

飲食店や塾講師などをしている学生が多いです。授業に影響が出ないように、週に2～3日程度で、1日に3時間程度の勤務時間が平均的。先輩たちは1日の時間を上手に活用してアルバイトをしています。



参考にしてみてネ!





MESSAGE

地域に根差し、
世界に飛躍する大学として



福島県立医科大学は「ピンチをチャンスに、変化を進化に」をスローガンに掲げています。私たちはこの10数年の間に、震災や原子力災害、新型コロナウイルス感染症のパンデミックと、幾度もピンチに見舞われてきました。しかし、その都度本学は丸となって果敢に挑戦を繰り返し、新しい進化の芽を育ててきました。

震災からの復興はもとより、高度で安定した医療体制の実現や、不足する医療人材の育成、教育、世界に伍していける研究の推進など、本学が担う役割は、非常に困難なものではあるものの、現在では次第にその取り組みや成果が国内外で高い評価を得ています。

一例を挙げれば、原子力災害をはじめとする災害医療対応では多くの医療者への指導、育成に携わり、原子力災害に関するデータや知見を広く世界に発信しています。また、放射性薬剤の創薬分野では独創的な研究が進行しています。足掛け20年に及ぶ研究により確立したタンパク質解析技術では他の追随を許さず、その成果を新型コロナウイルス感染症に対応したIga抗体マスクやIga抗体スプレーを市販するに至りました。

私たちの歩みはこれからも続きます。私たちは、使命のさらなる遂行とともに、より良い社会の実現のため、その成果を社会に実装し、世界や地域に積極的に還元してまいります。そして本学の存在が常に価値あるものと皆さまに感じていただけるよう、力を尽くしていきたいと考えています。

福島県立医科大学は、さらに進化を遂げ、成長し続ける決意です。困難を乗り越え、世界に誇れる実績を積み重ねてきたことに誇りを持ちながら、地域に根差し、世界に飛躍する大学としてさらなる高みを目指して参ります。



令和5年4月
公立大学法人福島県立医科大学
理事長兼学長 竹之下 誠一

福島県立医科大学の理念

(令和元年6月26日制定)

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。

もとより医療は、すべての医療人が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることを本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

01

ひとのいのちを尊び
倫理性豊かな医療人を教育・育成する。

02

最新かつ高度な医学、
看護学および保健科学を研究・創造する。

03

県民の基幹施設として、
全人的・統合的な医療を提供する。

福島県立医科大学は3学部6学科と別科、大学院からなり、医療系総合大学としての特徴を活かした、専門教育のための環境があります。



福島県立医科大学	
学部	学科
医学部	医学科 「生涯にわたる健康なくらし」を願う県民の期待に応えるべく確かつ迅速に対応し、医療の未来を担う、より高度な技術、判断力を持った医師の育成を目指しています。
看護学部	看護学科 医療の介助のみならず、入院中あるいは在宅における生活の質を高めることや健康増進、病気の予防、セルフケア能力の向上に関わる、看護の専門性を携えた人材育成を目指しています。
保健科学部	理学療法学科 日常生活にかかせない基本動作を改善させる、運動機能回復のスペシャリストの育成を目指しています。
	作業療法学科 「こころ」や「からだ」に障がいがある方の日常生活の自立や社会復帰を支援するスペシャリストの育成を目指しています。
	診療放射線科学科 高度な放射線機器を活用し、患者さんを救う放射線のスペシャリストの育成を目指しています。
	臨床検査学科 血液検査、生化学検査、微生物検査、病理検査、生理学検査など診療に必要な検査のスペシャリストの育成を目指しています。
別科	助産学専攻 臨床実践能力としての助産診断力、助産技術力を身に付けると共に、高い倫理観を備え、地域の保健・医療・福祉に貢献できる助産師を養成していきます。

大学院		
学科	専攻	学習コース
医学研究科	医学専攻 (博士課程)	高度医学研究者コース
	医科学専攻 (修士課程)	専門医研究者コース
	災害・被ばく医療科学共同専攻 (修士課程)	総合医科学プログラム
看護学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	社会科学プログラム
	看護学専攻 (博士後期課程)	医科学コース
		保健看護学コース
		研究コース
		CNSコース
		助産師コース

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

福島県立医科大学の3つの方針(ポリシー)

POLICY

1 DIPLOMA POLICY

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、次のような能力を身につけた者に学位を授与します。

- 医療に携わるプロフェッショナルとしての知識・技能および倫理観を習得した者
- 福祉と医療の分野において社会貢献できる能力を有する者
- 科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得し、医療の発展に寄与する成果を発信する基礎的な能力を持つ者
- 本学履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与された者

2 CURRICULUM POLICY

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、次のような方針で教育を実施します。

- 高度化する医療の諸問題を自ら進んで学習し、問題発見・解決能力を養う。また、生涯学習の姿勢を身につける。
- 医療を体系的に学び、疾患の深い理解に基づいて医療人として見識を養う。また、コミュニケーション能力や協調性の育成を図る。
- 臨床の現場を知り、医療人としての自覚を持ち、患者様に寄り添う心を身につける。
- 福島の地域医療の現状を学び、人々の健康を守る方法論を学ぶ。
- 科学的探究心と創造性に基づく研究を目指し、世界に飛躍する志を養う。

3 ADMISSION POLICY

入学者の受入に関する方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次のような資質を持つ学生を求めます。

- 高い倫理観と豊かな人間性を持ち、命を尊ぶ心を持った人
- 十分な基礎学力を有し、医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- コミュニケーション能力にすぐれ、協調性を持つ人
- 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持つ人
- 科学的探究心と創造性を備え、医療の分野で、世界に飛躍しようとする志を持つ人



地域を創造する、 新しい時代の医療を目指して

医学部は、地域医療の牽引車となる使命をおびて、県立の医科大学として創立されました。

「生涯にわたる健康なくらし」を願う県民の期待に応えるべく的確かつ迅速に対応し、

より高度な技術、判断力を持った医療人を養成します。



もっと詳しく！
医学部のWEBサイトを
チェック

求める学生像

- 1 いのちを尊ぶ心を備えた人
- 2 高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
- 3 広い視野と適切な判断力を備えた人
- 4 科学的探究心と創造性を備えた人
- 5 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を備えた人

卒業後の進路

卒業後は2年間の臨床研修があり、複数診療科をローテーションしながら研修を行います。
この研修を終えると、専門医資格取得のための専門研修に進みます。(P.43参照)

医大附属病院専門研修の特徴

- ①すべての基本領域プログラムを基幹施設として運用
- ②希望する専門医資格の効率的な取得が可能
- ③専門医と博士号の同時取得が可能
- ④研修協力病院との共同により、必要な症例、
症状等を確保

医大附属病院卒後臨床研修の特徴

- ①柔軟性を持ったプログラム
- ②研修協力病院との「たすきかけ方式」も選択可能
- ③希望に応じて研修協力病院での短期研修が可能
- ④救命救急センター、ドクターヘリによる救急研修
- ⑤内科、地域医療研修時に一般外来研修
- ⑥メンター(相談員)制度によるきめ細かな
研修サポート

Message

高い倫理観を持ち、確かな知識と技術を備えた
医師を育成してまいります。

医学部長 藤森 敬也



福島県立医科大学は、昭和19(1944)年創設の福島県立女子医学専門学校(女子医専)を基盤として、昭和22(1947)年に旧制医科大学(予科)が設立されたことに始まります。それ以降、教育、診療、研究を3本柱として、福島県内の医療を守り優秀な臨床医を輩出してまいりました。また、研究分野では基礎医学と臨床研究との連携の伝統を守りつつ、独創的で質の高い研究を行ってまいりました。

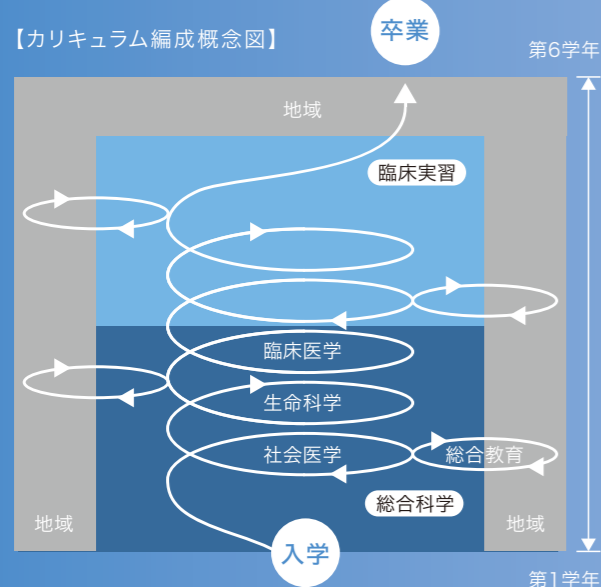
教育面では、福島学や放射線災害医療学などといった本学独自の科目群が、基本的な内容のコア・カリキュラムの周辺にらせん型に配置されており、総合科学系科目、生命科学・社会医学系科目、臨床医学系科目を緊密に行き来しながら、あるいはそれらを融合した総合教育科目を、各自の成長・習熟度に合わせて6年間を通して繰り返し発展的に学んでいく、6年間一貫らせん型カリキュラムによる教育を行っております。

東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持ち、本学に与えられた使命を理解して、科学的探究心と創造性を備え、世界に飛躍しようとする志を持つ人を求めています。私たちが学び、高い倫理観を持ち、確かな知識と技術を備えた医師を目指してください。

医学部カリキュラムの特徴

医学部では、独自の「らせん型カリキュラム」による教育を行っています。このカリキュラムでは、各自の成長・習熟度に合わせて、基本と発展の科目を繰り返し学ぶことができます。また、県立の医科大学として、常に地域社会を意識し、学習者が大学から地域に出かけ、そこに暮らす人々から謙虚に学ぶという機会を数多く設けています。

【カリキュラム編成概念図】



1年次



語学・自然科学・人文社会科学系科目と総合教育科目群及び生命科学・社会医学系科目を効率よく配置。最初のステージで医学の基本をおさえ、医学を取り巻く課題を多面的にとらえる考え方を学びます。ここでは医療現場や地域社会の見学・調査などを通して、チームワーク、相手の立場を思いやる想像力、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力などの重要性についての理解を深めていきます。同時に自分がめざす医師のビジョンが次第に見えてくるステージでもあります。

2～4年次



生命科学、臨床医学および社会医学科目の学習をとおし、医学について生命現象から医療の知識、保健・福祉や社会との関わりまで網羅的に学びます。2年次には、「人体の正常構造と機能」と「疾病の原因や病態の基本」を学ぶ生命科学系科目群が、3年次には内科系・外科系からの治療アプローチについて総合的に学ぶ臨床医学系科目が有機的に配置されています。また、4年次には、6週間の研究活動（基礎上級プログラム）が実施されます。さらに、OSCE（客観的臨床能力試験）受験・臨床実習開始に先立ち、基本的かつ実践的な診療技術や生命倫理等を学ぶ医療入門が配置され、約22ヶ月間にわたる臨床実習（ベッドサイドラーニング：BSL）へ、円滑に移行していきます。

5～6年次



これまでに培ってきたコミュニケーション能力や問題解決能力を発揮しながら、医療チームの一員として医療に参加し、実践的な診療能力を身につけます。アドバンストコースの中には、住民の方の自宅にホームステイしながら、地域の第一線医療機関で長期の実習を行うコースも設定されています。この「らせん型カリキュラム」は、あくまで医学生の学ぶ姿勢をサポートするもので、必ず機械的に段階的に身につくものではありません。

CLOSE UP LESSON

放射線災害医療を学ぶ

医学部では、3年次に患者さん、自分の家族、他の地域の友人にも、放射線と健康について自ら解説できるようになるよう「放射線生命医療学」、「救急災害医療」、「放射線災害医療学」を学びます。さらに4年次から始まるBSLにおいても放射線災害医療及び災害医療について実習を行います。

会津医療センター臨床実習

平成25年5月に開院した会津医療センターにおいて2週間BSLを行います。会津医療センターの実習では、内科系・外科系の入院患者をそれぞれ1症例ずつ担当し、プライマリ・ケアに必要な医療面接・身体診察・診断推論・プレゼンテーション能力を習得します。

地域との協働による実習

医学部では、地域医療に貢献する医師の育成と定着を目指し、地域の医療機関や福祉施設の協力のもと、低学年から地域住民等と向き合う「地域実習」を行っています。また、高学年の「BSL」では、一定期間地域の医療機関で実習を行う「協力病院コース」や地域住民宅でのホームステイを経験しながら医療研修を受ける「ホームステイ型研修」も選択でき、質の高い実習を行います。



医師としての力を身に付け、地元である福島に還元できたらうれしい。

医学部は全員が医師になるという共通の目標を持っているので、一体感や連帯感が強い学部だと思います。また6年間在籍するので、病院実習に十分な時間があることも魅力です。今は臨床医学の土台となる解剖学や微生物学、組織学といった基礎医学を学んでいます。また学習面だけでなく、柔道部とゴルフ部に所属しており部活動にも熱心に取り組む学生生活です。国際学会や留学を通してグローバルに活躍できる医師が目標です。



錫谷 智さん
福島県
福島高等学校出身



本当に困っている人の助けになること、それが医師を目指す私のバイブルです。

本学の特徴として色々な地域出身の同級生が多く、様々な人と関わることがあります。先輩方や先生方も優しく、質問に優しく対応してくれます。日々きちんと学んでいけば、確実に必要な知識が身に付くことを実感しています。現在3年生になり臨床科目の講義が中心で、モチベーション高く勉強しています。県外からの受験を考える人は不安があるかもしれませんが、この大学なら楽しく学び医師を目指せます。



海川 慶さん
愛知県
滝高等学校出身

看護学部



人との関わりから生まれる、
質の高い看護ケアを目指して

看護学部は、公立単科医科大学初の看護学部として1998年に開設。

また、より高い看護の専門性を携えた人材を育成するために、

2002年4月に大学院看護学研究科を設置しました。

以来、多くの卒業生・修了生を県内外の看護実践・教育の場に送り出しています。



もっと詳しく！
看護学部のWEBサイトを
チェック

求める学生像

- 1 人間への関心をもち、「いのち」と「健康」を積極的に守ろうとする人
- 2 いろいろな観点からものを理解することができる人
- 3 対人関係を通して、ともに成長することができる人
- 4 地域の保健医療を担うという情熱と意欲を有する人
- 5 ものごとを論理的に考え、表現することができる人
- 6 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、探求心を有する人

卒業後の進路

看護学部卒業後は、看護師の国家試験受験資格を得ることができます。また、必要な科目を選択履修することにより、保健師の国家試験受験資格も得られます。看護専門職者の活躍する場は、病院だけではなく、さまざまな分野へと広がりを見せています。看護学部卒業後の進路としては、病院や診療所などの医療分野や、保健所・保健センター・保健施設などの保健・福祉分野、さらには、行政や教育・研究分野など、幅広い領域で能力を発揮することができます。

卒業生のなかには、医療機関等に勤務しながら本学大学院看護学研究科において学ぶ方もいます。

国家試験…看護師・保健師

- 病院・診療所・訪問看護ステーション・助産院などの医療保健分野
- 保健センター・保健所・保健福祉施設などの保健・福祉分野
- 保健福祉行政・教育・研究分野

Message

日常(当たり前)を取り戻す

看護学部長 坂本 祐子



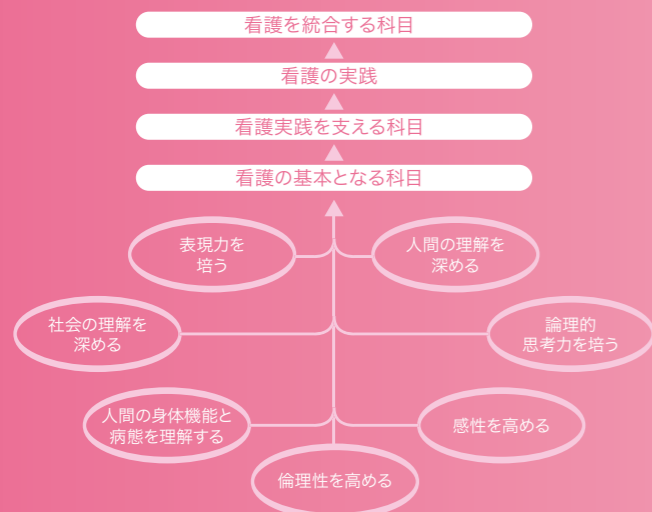
キャンパス、講義室に学生の姿・笑顔・声があることが“当たり前”でなくなった日から3年が経過し、今大学はCOVID-19以前に戻りつつあります。講義の開講形式や臨床実習に制限が課せられ、その中でどのように“看護”を“看護学”を教授するか、全教員が試行錯誤しながらの3年でした。ピンチはチャンスと言いますが、教員は「…がないと難しい」から「これはあるから…」に思考や発想を転換させながら、新たな教授方法や教材開発を進化・深化させていった印象を受けています。

昨日までの日常が“当たり前”でなくなる、それは病気を発症した人やその家族にも当てはまります。日々“当たり前”過ぎて意識していなかった「話すこと」、「歩くこと」、「生きること」等に、一時的あるいは恒久的な制限が課せられるような境地に陥る方が少なくありません。その時、“日常”に近づき取り戻すため病む人とその家族は、看護職に何を期待し求めるでしょうか。そして、看護職には、その期待や求めに応えるために、どのような能力や努力が必要となるでしょうか。病む人とその家族、誰一人として同じ人はいません。その方に適した最善の看護を考え、工夫し、提供できる看護職を目指すよう私達看護学部の教員は、“看護学”を教授していきます。共に看護・看護学を探求していきましょう。

看護学部カリキュラムの特徴

文部科学省により看護学教育モデル・コア・カリキュラムが公表されたことを受け、教育課程を見直しました。新カリキュラムの特徴は、医学部や保健科学部との連携も見据え多職種連携に必要なチーム医療について学ぶ科目、及び今後更に重要性が増す地域包括ケアを学ぶ講義・実習を新設し、加えて、東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所事故という複合災害を経験した県立大学として災害看護学を充実させました。

【カリキュラム編成概念図】



1～3年次



本学部が目指す教育は、看護の対象となる人々がどのような健康状態にあっても、またどのような発達段階にあっても、その健康状態を対象となる人々の生活との関係の中で捉え、自らの知識と技術を統合し、必要な看護ケアを提供できる実践能力をもった学生の育成です。また、保健医療福祉に関わる様々な専門職者と協働し、最終的には看護の対象となる人々自らが健康問題の解決を図り、健康状態を高めていけるように援助できる、創造性豊かな人材の育成に重点を置いています。1～3年次では、看護の対象となる人間の理解を深めるため、心理学や生活と科学、人間関係論などについて学びます。また、倫理性を高める生命倫理、人間の身体機能と病態を理解するための病態栄養学、薬物治療学のほか、表現力を培うための外国語や、社会の理解を深めるための医療と法、感性を高めるための美術などの一般教養も学びます。看護の基本となる科目や看護実践を支える科目、看護の実践、看護を統合する科目と段階を踏んで学び、実践能力を確実に身につけます。

4年次



4年次の前期には、1～3年次に履修した講義や演習、実習等の学びをふまえて、自分の関心のある領域や対象を定め、自分の看護実践上の課題を見出します。その課題の解決・目標達成に向けて、既習の知識・技術・態度を統合した看護実践を行う実習があります。実習前には、担当教員との面接やゼミナールを通して、自分自身の課題をさらに明確化し、課題に関連した文献を系統的に検討します。その上で、課題に沿ってどのような実習ができるか検討し、実習計画を立案して、実習に臨みます。9月には、実習報告会で、他の学生の意見や、実習指導者、教員からの助言を受けて、学びを整理しなおし、自身の看護実践能力の向上につなげています。



妊婦とその地域をつなぐ 架け橋のような助産師になることが目標です。

看護学部はグループワークでは活発な意見が飛び交い、日々、自分にはなかった新しい考えと出会う機会が多くあります。先生方も質問に対し優しく指導してくれるので、学習に対する意欲が向上します。今は患者さんの状態を理解し変化に対応できるように、病気の発生機序や薬の作用などの勉強に力を入れています。卒業後は進学をして、助産師になることが目標です。地域の助産師として、安心してお産ができる場を提供できたらいいなと思います。

高橋 琴音さん
宮城県 石巻好文館高等学校出身



看護師に必要な共感する力を養うために、 自習教材として読書を取り入れています。

埼玉出身の私ですが、幼い頃から福島でスキーを習っていたこともあり親近感がありました。本学を選んだのは附属病院の救急医療の質の高さと、医学部、看護学部、保健科学部と医療職を目指す学生が多く在籍していることです。それによりチーム医療に必要な他職種との連携意識を学生時代から養うことができると考えたからです。講義をする先生方のおかげで楽しく学ぶことができ、将来、救急の現場で看護師として働きたい私にとって最高の環境です。

西原 成美さん
埼玉県 昌平高等学校出身



保健科学部



国家資格を取得し、 チーム医療を担うスペシャリストに

保健科学部は、専門医療技術者である理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師を養成する新しい学部として2021年4月に開設されました。学生は福島駅近くに新たに整備されたキャンパスで学びます。この学部で養成する4職種にはすべて国家資格が定められています。



もっと詳しく！
保健科学部のWEBサイトを
チェック

養成する人材像

- 1 いのち、健康および生活を守る専門医療技術者として、高い倫理観と知識・技術、コミュニケーション能力を有する人材
- 2 生涯にわたって学修・科学する意欲を持ち続け、人として、専門医療技術者として成長することができる人材
- 3 福島の地域医療や災害医療を理解し、それらへの取り組みを能動的に行える人材

医療技術者をめざす4学科

MRIをはじめとする多くの高度な専門機器を利用した効果的な演習・実習を行い、チーム医療を行う中で欠かせない人材を育成します。



理学療法学科



作業療法学科



診療放射線科学科



臨床検査学科

Message

保健科学部が開設3年目を迎えました。

保健科学部長 矢吹 省司



保健科学部は、東日本大震災後の医療従事者の流出や健康不安増大の中、令和3年(2021)年4月に開設されました。

今年度は学部開設から3年目を迎え、一期生は卒業研究に向けたゼミナールが始まります。また、自分の将来像を具体的に描き、進学や就職に向けて準備を行う時期となります。学生が自身の望む道に進めるよう、教職員一丸となり進路支援活動に取り組んでいきたいと思っております。二期生、三期生は、先輩の後ろ姿を見ながら勉学に励んでいます。良い関係ができていると喜んでいます。

東日本大震災から12年が経過しましたが、福島の復興はまだまだ道半ばです。保健科学部でともに学び、県民の健康という面から福島の復興に役立つ立派な医療のプロになってほしいと願っています。

Physical therapy

理学療法学科



運動機能回復のスペシャリスト

運動療法や物理療法を用いて日常生活に欠かせない基本的動作を改善します。福島地域医療に貢献し、さらに理学療法発展にリーダーシップを発揮する理学療法士を育成します。

めざせる資格

- 理学療法士(国家資格)

想定される主な就職先

- 医療施設(急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養型病院、診療所)
- 介護老人保健施設
- 地域包括支援センター
- 通所・訪問リハビリテーション事業所
- 教育・研究施設
- スポーツ分野
- 行政関係施設(保健所、市町村保健センター)
- 医療福祉機器企業 他

1年次

1年次は、教養科目に加え医学やリハビリテーションの基礎を学びます。臨床実習では、1年次に短期間の見学実習があります。

2年次

2年次には、関連する医学の基本に加え、運動療法の基本や、分野別理学療法を講義や演習で学びます。附属病院等での体験導入実習があります。

3年次

3年次には、演習や実習を通じて応用的な理学療法を学びます。3年次からは学外の病院・施設での評価実習・総合実習などを行っていきます。

4年次

4年次には、それらをさらに発展させた理学療法を学び、卒業研究も行います。学年が進むにつれて、より専門的な内容を学ぶカリキュラムになっています。



福島県でみんなを笑顔にできる理学療法士を目指しています。

実家の郡山から通学できることはもちろん、県内で就職したいと考えていた私にとって、福島県の地域特性を学べることが魅力でこの学科を選びました。施設が充実していて、グループワークや実践的な授業が多く、また先生方との距離が近いので同じ学科のみんなと切磋琢磨できる環境です。実習では光が丘キャンパスへ行くこともあります。3年生になると9月から長期実習が控えており、実習に行く前に実技試験もあるので、今はそのテストに向けて実技能力を磨くことを目標に勉強に取り組んでいます。

望月 彩音さん
福島県
日本大学東北高等学校出身



Occupational Therapy

作業療法学科



作業ができるように

支援するスペシャリスト

作業療法は、食事や入浴などの日常生活活動、遊びや余暇、仕事や地域活動など、人が営む「作業」を支援し、健康で満足した生活を促進します。作業療法の高度な知識と技術、そして豊かな人間性を備えた次世代の作業療法士のリーダーを育成します。

めざせる資格

- 作業療法士(国家資格)

想定される主な就職先

- 医療施設(一般病院、精神科病院、診療所など)
- 介護老人保健施設
- 通所・訪問リハビリテーション事業所
- 児童福祉施設
- 特別支援学校
- 地域包括支援センター
- 市町村保健センター
- 教育・研究施設
- 矯正施設(刑務所など) 他

1年次

1年次は教養科目、医学やリハビリテーションの基礎科目に加え、作業療法概論や基礎作業学実習などの専門科目を早期から学びます。また臨床実習で臨床場面の見学を通して、作業療法への理解を深めます。

2年次

2年次は作業療法に関連する臨床医学を学ぶとともに、身体障害や精神障害、発達障害及び老年期障害の各領域別作業療法評価学・治療学を学びます。

3年次

3年次は、領域別作業療法学演習や地域作業療法学など、応用的作業療法学について学びます。また関心のある領域について深く学ぶことができますように選択科目を開講しています。

4年次

4年次では作業療法の発展領域や研究について学びます。日々発展する作業療法分野の先端的知識を学びつつ、今後の新たな作業療法を創造するための研究力を養います。



現代の医療に大切な「チーム医療」が学べる実践的な環境です。

生まれ育った福島県で、地域医療や災害医療など患者さんと直接関われるような仕事がしたいと、この学科を選びました。実習やグループワークに取り組める環境が十分に整っているので、集中して学びを深めることができます。また4学科合同でのグループ活動や模擬カンファレンスなど、チーム医療を学ぶ実践的な学習の機会が多いのが魅力です。3年次は専門科目はもちろん、グループでの演習や技能実習、8週間の臨床実習などもあり、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら作業療法士を目指して頑張っている毎日です。

高森 芽生さん
福島県
郡山高等学校出身



診療放射線科学科

先端診療機器で患者さんを救う

放射線のスペシャリスト

高度な放射線診療機器を活用した診療放射線科学の研究と教授により、的確な診断・治療に資する診療技術を有するとともに放射線の専門家として福島の復興・発展にも寄与できる人材を育成します。



臨床検査学科

診療に必要なデータを計測

分析のスペシャリスト

血液中の成分や化学物質を測定する血液検査や生化学検査、細菌やウイルスを調べる微生物検査、組織や細胞を顕微鏡で見て判定する病理検査、心電図や脳波計で身体の状態を調べる生理学検査を学び、検査のスペシャリストを育成します。



めざせる資格

- 診療放射線技師(国家資格)
- エックス線作業主任者(国家資格)
- ガンマ線透過写真撮影作業主任者(国家資格)
- 第1種放射線取扱主任者(国家資格)
- 作業環境測定士(国家資格)

想定される主な就職先

- 医療施設 ●検診施設 ●教育・研究施設 ●保健所 ●官公庁 ●医療・研究機器関連企業・商社 ●医療情報関連企業 ●遠隔医療関連企業 ●非破壊検査関連企業 ●放射線を取り扱う団体や企業 他

1年次

1年次は、診療放射線科学を修得する上で基礎となる教養科目を学びます。さらに、専門基礎科目で医学の基礎知識を学修します。

2年次

2年次は、診療放射線科学の専門科目も多く配置されています。診療放射線技師として自律的に行動できるための知識、技術を学修します。

3年次

3年次は、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく科目が配置されています。そして実験・演習を通じて、科学的な思考を育成します。

4年次

4年次は、これまで学修した知識や技術を臨床で活かす臨床実習を行います。また指導教員のもとで、4年間の学修の集大成となる卒業研究に取り組みます。

めざせる資格

- 臨床検査技師(国家資格)
- 細胞検査士(民間資格)
- 遺伝子分析化学認定士・初級(民間資格)
- 中級・上級バイオ技術者(民間資格)
- 健康食品管理士(民間資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 食品衛生監視員(任用資格)

想定される主な就職先

- 医療施設 ●検査センター ●保健所・衛生研究所 ●科捜研 ●検査試薬関連企業 ●製薬関連企業 ●医療機器関連企業 ●食品関連企業 ●治験コーディネーター ●医学関連の出版社 他

1年次

1年次には教養教育に加え、総合科学、生化学、解剖学、生理学といった医学の基礎分野を学びます。

2～3年次

2年次から3年次にかけて基礎分野を土台として臨床検査学を基礎から専門へ段階的に学んでいきます。それぞれの科目は、講義と実習が系統的に一体化された形で学修できるようカリキュラムを組んでいます。また、選択科目として2年次より細胞検査士コースを開講します。

4年次

4年次には専門的演習、臨床実習や研究活動を通して臨床的な実践力や科学的な思考力を養います。



資格取得を目標に、楽しい学生生活でリフレッシュしています。

この学科を選んだのは、福島県に関わりのある授業があると知って、もっと地元である福島のことについて学びながらチーム医療の一員として活躍したいと思ったことがきっかけです。入学当初は不安もありましたが、1年次の授業は他学科との合同授業やグループ活動が多く他学科の学生とも仲良くなることができます。交流も多いので、学校内は過ごしやすくリフレッシュできる環境です。今は8月に試験がある第1種放射線取扱主任者の資格取得を目標に猛勉強中です。受験勉強は大変ですが、楽しい大学生活が待っていますので頑張ってください。

宮崎 優菜さん
福島県
福島成蹊高等学校出身



経験豊富な先生方、充実した実習があるから成長できます。

まだ開設3年目なので校舎や設備が綺麗で、新しいことに挑戦しやすい環境です。実習や講義も充実していて、専門的な科目だけではなく心理学や福島県ならではの放射線について学ぶことも魅力です。今は生理学で心電図の読み方、そこから分かる症状や病態などを様々な先生から教わっており学んですごく楽しいです。今年は心電図検定に挑戦しようと思っています。私の将来の夢は、どの分野でも活躍できる臨床検査技師になることです。血液や超音波、心電図解析を的確に行い、患者さんの健康を守ることに貢献したいです。

加瀬 陽向さん
千葉県
佐原高等学校出身



別科助産学専攻



生涯にわたり活躍できる

専門職を目指して

別科助産学専攻は、将来を担う子どもたちと女性に寄り添い歩む助産師を育成するために、高度な知識と技術を身に付けた質の高い助産師の養成を目的として、2023年4月に開設しました。臨床実践能力としての助産診断力・助産技術を身に付けると共に、高い倫理観を備え、地域の保健・医療・福祉に貢献できる助産師を養成します。



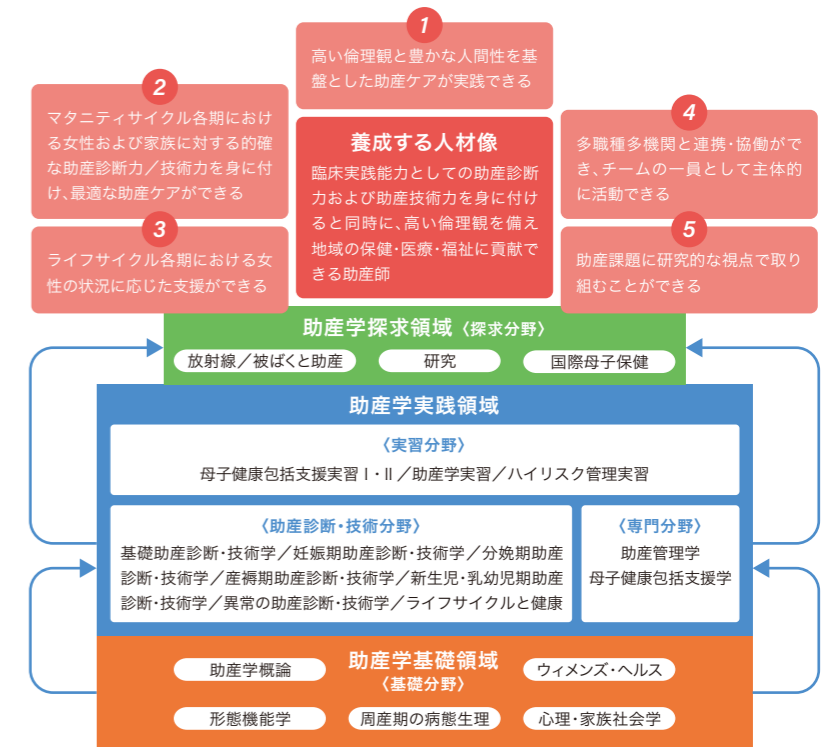
もっと詳しく！
別科助産学専攻のWEBサイトを
チェック

教育目標

- 1- いのちを尊び、人に寄り添い、対象の主体性を尊重できる倫理的感応力を修得できる。
- 2- 科学的根拠に基づいた専門的知識と技術を修得し、安全・安心で有効なマタニティケア能力を修得できる。
- 3- 女性の生涯を通じた支援者として、その人の持つ力が最大限発揮できるよう支援するためのウィメンズヘルスケア能力を修得できる。
- 4- 周産期医療チームの一員として、助産師の専門性を発揮し、多職種多機関と連携・協働して福島の母子保健・医療・福祉の向上・発展に貢献できる助産実践能力を修得できる。
- 5- クリティカルな思考で助産学を探究し、助産師として自己研鑽する専門的自律能力を修得できる。

カリキュラムの特徴

別科助産学専攻のカリキュラムは、学生が共に学び共に育つことを基本としています。同時に、助産師としての個々のアイデンティティの形成を促すために、[助産学基礎領域]を基盤に[助産学実践領域]を積上げ、更に、研究的思考や国際的な視野を学ぶ[助産学探求領域]の3領域で構成されています。また、福島県の復興再生を前に進める上で、重要な課題である”子どもたちを安心して生み育てる”ことに関わる助産師に必要な知識と役割を学ぶ科目として『放射線/被ばくと助産』を置いている点がもう一つの特徴となっています。



Message

別科長 太田 操



福島県立医科大学は、令和5年4月に光が丘キャンパスに新しく2つの助産師養成課程「別科助産学専攻」と「大学院看護学研究科博士前期課程看護学専攻母性看護学・助産学領域助産師コース」を開設しました。
別科助産学専攻では、いのちを尊び、豊かな人間性とケアリング能力を有する助産師を育成するために、1年間で助産に携わる専門職としての基礎を学修し、助産師国家試験受験資格を取得します。
助産師は、女性のライフサイクル全般にわたり独自の判断で助産ケアを行います。その専門性を最も発揮できるのが分娩を中心としたマタニティサイクルです。これが助産師の核となるところです。なぜなら、助産ケアの対象である女性や母親たちが、助産師を最も必要とするのが分娩を中心としたマタニティサイクルだからです。
その期待に応えるべく、根拠に基づいた独自の観察力・診断力・実践力を身に付けます。そして、それを支えている人間力を培います。このように、高度な知識と技術・専門的実践能力を身に付け、更に高い倫理観を備えた助産師になるという意欲と愛と情熱にあふれる人を求めています。

大学院



研究者及び専門職として、
地域の発展に尽力する人材を目指して。

大学院では、医学・看護学の発展に寄与できる研究者及び専門職を
育成するとともに、新しい医学・看護学の創造を目的としています。

医学専攻(博士課程)、医科学専攻(修士課程)、災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)の

3つの専攻からなる医学研究科に加え、

看護学専攻(博士前期課程及び博士後期課程)で構成される看護学研究科があり、

実践を通して地域の発展に尽力できる人材を育成します。



もっと詳しく!
大学院のWEBサイトを
チェック

大学院の概要

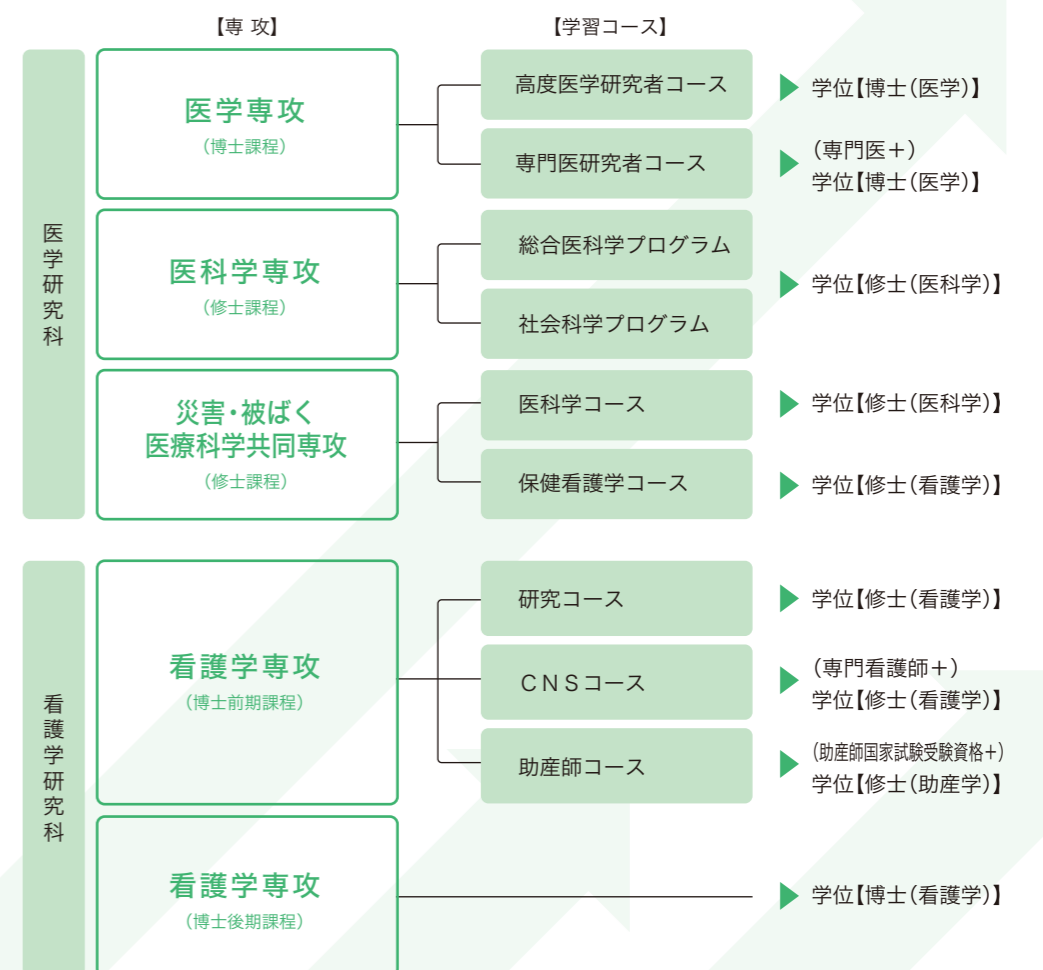
本学大学院は、医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職員を育成するとともに、新しい医学・看護学の創造を行うことを目的とします。

医学研究科では、研究者を育成する「医学専攻」(博士課程)と、医学以外の専門分野を学んだ学部卒業生を対象とする「医科学専攻」(修士課程)、看護師・自治体職員などの社会人を対象とする「災害・被ばく医療科学共同専攻」(修士課程)を設けています。

看護学研究科博士前期課程では、看護援助方法の開発と研究を担う看護専門職や、高度な専門知識・技術と卓越した実践能力をもつ看護専門職(専門看護師、助産師)を育成します。また博士後期課程では研究者・教育者、看護実践指導者として活躍する人材の育成を目指しています。



大学院の構成



医学研究科

教育目標

- 1 医学研究を推し進めた新たな医学の創造を目指す研究者を育成する。
- 2 研究の方法論を正しく身につけた専門性の高い臨床医を育成する。
- 3 医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者や高度な専門職として活躍する人材を育成する。

医学専攻

(博士課程)
修業年数4年

本専攻では、医学部を卒業した学生を中心とし、医学部以外からの学生にも広く門戸を開放して医学を究めることを目的とすることから、専攻の名称を「医学専攻」(Graduate School of Medicine)とし、学位に付与する専攻分野も「医学」とします。

本博士課程に入学する学生は、入学時点で、高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを選択します。

前者のコースは、医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え、新たな医学の創造ができるような人材の育成を目的とします。後者のコースでは、卒後臨床研修を終え、専門医研修を受ける学生を主な対象として、高度で専門的な臨床能力と、医療の現場から研究する能力を兼ね備えた臨床医を育成することを目的とし、そのために必要な科目を整備しています。

医学専攻の教育課程の特徴は
WEBサイトをチェック



医科学専攻

(修士課程)
修業年数2年

本専攻では、医学以外を専攻した多様な知識的背景や発想を持つ人々に、集中的に医科学を教授し、学際的な知識を統合させることによって、医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者、技術者や専門職として活躍できる人材の育成を目指します。

修士課程修了後には、博士課程(4年制、優れた研究業績をあげた者については3年間で修了可能)へ進学し、さらに、高いレベルの専門的知識や研究方法を修学し、研究者としてのレベルを向上することを推奨しています。

医科学専攻の教育課程の特徴は
WEBサイトをチェック



災害・被ばく医療科学共同専攻

(修士課程)
修業年数2年

2011年3月の東日本大震災・津波とそれに引き続く東京電力福島第一原子力発電所事故のような未曾有の複合型広域災害を契機に、緊急時から復興期において長期的にわたって健康被害に適切に対応できる人材が絶対的に不足していることが明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、平成28年度から長崎大学と共同で「災害・被ばく医療科学共同専攻」を設置しました。

本専攻は、看護師・自治体職員などの社会人を主な対象とした2つのコースを設け、災害・被ばく医療科学分野全般を俯瞰できる幅広い知識の習得により、災害時に活躍できる素養を持った専門家や長期にわたって健康被害に適切に対応できる人材の育成を目指します。

災害・被ばく医療科学共同専攻の
教育課程の特徴はWEBサイトをチェック



看護学研究科

教育目標

博士前期課程

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う人材を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる人材を育成する。

博士後期課程

- 1 看護系大学等の教育・研究機関において、複雑多様な人々のニーズに応えるケアやケアシステム開発の方法論を考究し、その体系化と発展に寄与する研究を自立して行い、その研究成果を看護実践に還元できる研究者で、その研究成果や研究指導力を以って質の高い看護学教育を展開できる看護教育・研究者を育成する。
- 2 病院や施設等の看護実践の場で、研究活動を自立して行うとともに、組織における研究活動や看護系大学等教育・研究機関との共同研究を推進し、その成果を看護実践に還元することを牽引できる指導者(看護実践指導者)を育成する。

看護学専攻

(博士前期課程)
修業年数2年

研究コース

「基礎看護学」「がん看護学」「成人看護学」「老年看護学」「精神看護学」「母性看護学・助産学」「小児看護学」「地域看護学」の8つの領域からなります。共通必修科目、看護専門科目、共通選択専門科目の履修に加えて「看護特別研究」が課されます。

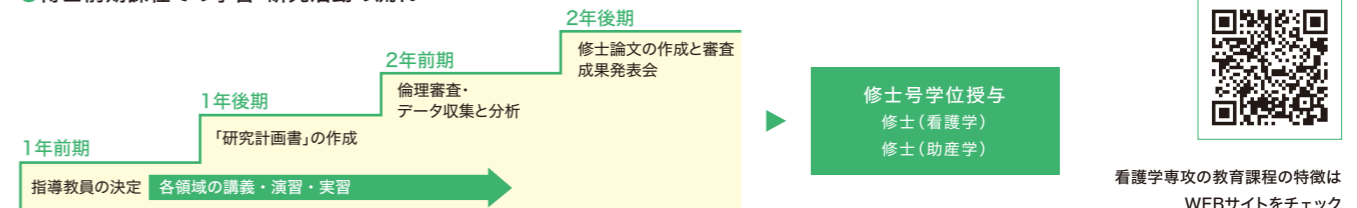
CNSコース

「がん看護専門看護師」「精神看護専門看護師」「小児看護専門看護師」の3つの専門看護師コースを設け、「日本看護系大学協議会専門看護師教育課程」の認定を受けています。共通必修科目、看護専門科目、共通選択専門科目の履修に加えて「看護課題研究」が課されます。

助産師コース

助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を履修します。共通必修科目、看護専門科目、共通選択専門科目の履修に加えて「看護課題研究」が課されます。

●博士前期課程での学習・研究活動の流れ



看護学専攻の教育課程の特徴は
WEBサイトをチェック



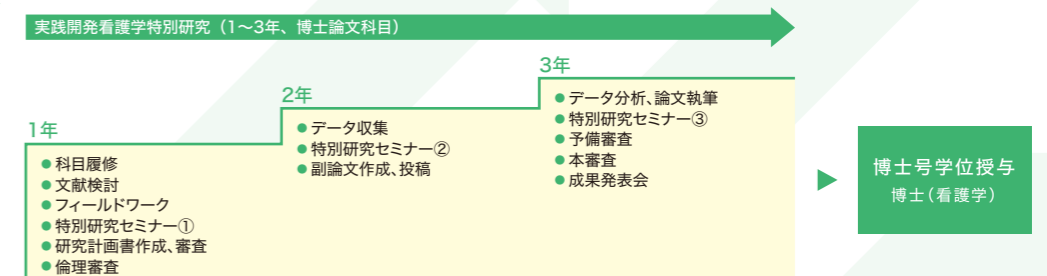
看護学専攻

(博士後期課程)
修業年数3年

実践開発看護学

「実践開発看護学」とは、人々のニーズに応える新規性の高い独創的なケアと、それらを適時適切に人々に届けるケアシステムを創造し、その有効性を検証し、応用・発展させる方法論について教育・研究することを目的とする看護学です。複雑化・多様化する健康問題の解決に資する独創的で質の高い看護実践を開発するとともに、住み慣れた地域で生活したいと願う住民や保健医療福祉資源の偏在を抱える地域の健康問題解決をめざし、多職種連携も含む継続した看護実践のシステム形成を図る能力の修得を目指します。

●博士後期課程での研究活動の流れ



博士号学位授与
博士(看護学)

CMECD

MISSION - 医療人育成に向けて -

医療人育成・支援センター

Center for Medical Education and Career Development

Message

医療人としての成長をシームレスに支援

医療人育成・支援センター
センター長 大谷 晃司



医療人育成・支援センターは、2008年4月、卒前医学教育と臨床研修を一貫して支援する組織として、医学教育部門と臨床医学教育研修部門が設立されました。その後、看護学教育研修部門と災害医療総合学習センターを加え、2020年からは医療手技教育研修開発センター、さらに2021年からは、保健科学部の開講に伴い、保健科学教育研修部門を加えた6部門が置かれ、それぞれ各部門が担う役割を果たし、学部教育・卒後教育の充実をはかり、よき医療人の育成を目指して取り組んでいます。

当センターは、設立10年が過ぎ、その時々々の要求に柔軟に対応し、活動内容が変化してきました。今後は、3学部6学科の医療系総合大学の教育に関する中心となることを期待されています。具体的には、本学における新たな教育システム導入の推進役と3学部の横の連携の要となることです。当センターは、本学の3学部の横断的な教育組織として、総合科学、生命科学、災害医療学、社会医学、臨床医学、看護学、理学療法学、作業療法学、診療放射線科学、臨床検査学について、学部の枠を越え、学生からそれぞれの卒業後の医療人としての成長をシームレスに支援していきます。また、災害医療総合学習センターと医療手技教育研修開発センターは、従来の枠組みを越えた新たな教育の拠点として期待されています。

今後も当センターにご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

医学教育部門



医学教育部門は、医学生が6年間で十分な知識と基本技能、そしてプロフェッショナルとしての姿勢と思考を自立的に身に付けられるよう、新しいプログラムの企画と支援、教育資源の管理、医学教育に係る提言を行っています。本学の医学教育全体を俯瞰して講座間、学部間を有機的につなぐ使命も担います。

I. 教育プログラムの企画と支援

- 新しい教育手法(TBL、統合授業、反転授業等)の導入と実践
- プロフェッショナル教育(早期ポリクリ、地域実習、多職種連携教育)の企画実践
- 領域横断的な技能教育の実践(医療面接、採血)と評価(OSCE)

II. 教育資源の管理

SP会運営、スキルラボ管理、FD、教育相談

III. 医学教育に係る提言

分野別認証評価、学生評価システム、入試、カリキュラム等

IV. 医学部入学への動機付け事業の支援

出前講義、学校見学対応等

看護学教育研修部門



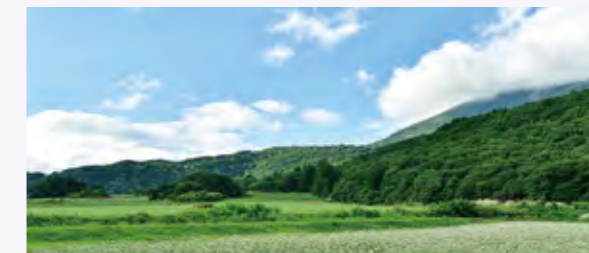
2014年4月から、看護学教育研修部門が設けられています。この部門では、地域医療を担う看護師等の資質向上の支援として、大学附属病院看護職、県内で働く看護職を対象とした研修、地域医療を担う看護師等の確保支援としての就職ガイダンス、高等学校等の広報活動・看護学への動機づけ支援としての出前講座や学校見学等を行っています。

これらにより、看護学への関心を高めるとともに看護学を学ぶことの動機づけを行い、将来の仕事としての看護職をイメージし、入学前から卒業後も継続して、生涯にわたり専門職として学ぶことができる環境整備に取り組んでいます。

主な事業

- 看護職等の資質向上のための研修
- 就職ガイダンス
- 学校見学
- 出前講座

保健科学教育研修部門



保健科学教育研修部門は、2021年の保健科学部開設に伴い設置されました。

4学科で育成される理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、および臨床検査技師のそれぞれが専門医療技術者として高い倫理観と知識、技術、コミュニケーション能力等の臨床能力を身に付けることができるように環境整備や教育支援を行うとともに、研究会などを開催して地域医療を担う医療従事者の資質向上の支援を行っています。

災害医療総合学習センター

福島でしかできない実践的な教育

災害医療総合学習センターは、災害医療や放射線被ばく医療の知識や技術を持ち、それを実践できるエキスパート(医師・看護師・診療放射線技師などの多様な医療人)を育てるための教育と、その研修体制確立を主な役割としています。

医療手技教育研修開発センター

献体遺体を用いた手術手技研修(CST: Cadaver Surgical Training)の普及・発展のため、2020年4月に設置されました。今後は、医療手技の向上に向けた環境整備を行っていきます。

今後、実践的な医療手技の向上に寄与していくことが期待されております。

臨床医学教育研修部門



臨床医学教育研修部門は、卒後教育の充実を主な役割として、下記事業を通して、地域医療に必要な知識・技術の習得・向上のため、臨床研修医や指導医等の人材育成を支援しています。

特に、臨床研修の充実により、県内臨床研修医採用数を増加させることは、県内の医師確保につながることから、福島で日本トップクラスの臨床研修を提供し、第一線で働く医師を育てるため、県内20臨床研修病院をネットワーク化し、福島医大だけでなく県全体の臨床研修内容のレベルアップにも努めています。

2018年度の4年生から始まった臨床実習(BSL)の72週化にあわせ、BSLの内容の改善や評価のIT化を担っています。センター創設10年が過ぎ、臨床教育を見据え、学部の臨床教育へ活動範囲が広がってきています。

さらに現行の制度に沿った専門医研修支援を行っていきます。県内各病院での学部教育・臨床研修に関する講習会や臨床研修指導医養成講習会の開催などを通じて、大学の枠を越え、福島県全体の臨床医学教育の向上も目指しています。

主な事業

- 臨床実習(BSL)改革の推進
- 臨床研修・専門医研修の充実
- 医療・福祉・地域医療体験プログラムの提供
- 各種講習会・セミナー開催による医師生涯教育の支援
- 福島県臨床研修病院ネットワークの統括
- 福島県地域医療支援センターとの共同事業

クリニカル・スキルズ・ラボラトリー (スキルラボ)

「知っていること (know how) は、やって見られること (show how) を意味しない」との考えに基づき、臨床手技の訓練施設「スキルラボ」を整備しています。

スキルラボとは？

スキルラボの略称で親しまれているクリニカル・スキルズ・ラボラトリーは、医療人が診療技能を修得するための施設です。患者さんの苦痛や羞恥心を伴う医療手技を、現場を模した環境でモデルやシミュレータを用いて練習できます。失敗を恐れず何度でも練習できるため、医学生、看護学生、研修医、病院スタッフが活発に利用しています。

本学のスキルラボは、2009年4月27日にオープンしました。現在、スキルラボは、きぼう棟4階西、アドバンス (4号館5階)、ベーシック (8号館2階)、手術室の4カ所に設置されています。

スキルラボ・きぼう棟



2016年度まで主に医学部生と研修医が利用していたスキルラボ・アドバンスのシミュレータを、きぼう棟4階西に移動しました。

これにより、臨床手技の練習を臨床現場の近くで行えるようになりました。更に、これまで使用予約に応じて毎回出し入れしていたシミュレータが目的ごとの部屋に常設されているので、事前申込の上、スキルラボに行けばいつでも気軽に使えるようになりました。

スキルラボ・アドバンス

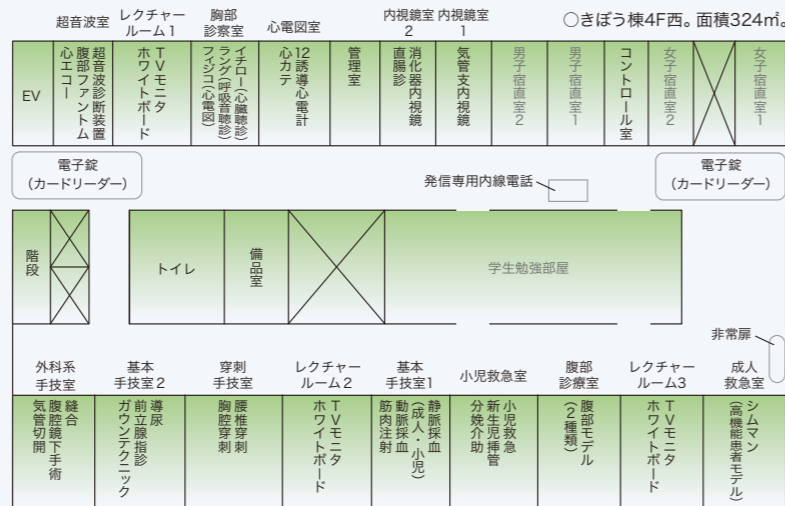
医療面接・診察撮影装置と広いオープンスペースを利用して、2週間毎に、医学部4～5年生が模擬患者さんとの医療面接実習を行っています。それ以外の日には、オープンスペースは学内外の方々を対象とした様々な講習会会場や4年生の臨床実習前OSCEの練習会場としても利用されます。

○4号館 (医学部総合科学系研究棟) 5階。面積 310㎡。

スキルラボの利用状況

スキルラボが開設された2009年度には学内外へのPR企画 (臨床手技の講習会、オープンキャンパスでのイベント、FDでのシミュレータ・デモンストレーションなど) が多数行われ、初年度として3,800名の利用がありました。スキルラボ利用者協議会が設けられ、シミュレーション教育の授業活用が進み、施設利用は順調に伸び、2022年度は延べ9,000名を超える利用がありました。

現在、医学部臨床実習では、4～6年次全科必修プライマリーコース64週と6年次選択科アドバンスコース8週で行われており、「心臓・肺の聴診」「腰椎穿刺」「前立腺指診」「小児のBLS」「気管切開」「心臓・腹部の超音波」「採血手技」など、20診療科35手技のシミュレーション教育プログラムが実施されています。



スキルラボ・ベーシック

ベッドサイドでの患者の診察・処置・ケアが大人数で学習できるようにレイアウトされた学習スペースで、主に看護学生や新人ナースなどがフィジカルアセスメントや採血手技を学習しています。

○8号館 (看護学部棟) 2階。面積 480㎡。



スキルラボ・手術室

全身麻酔に伴う呼吸・循環の変化、急変対応を高性能シミュレータで学習するスペース。

○附属病院2階麻酔科外来の回復室に設定。面積 約12㎡。

詳しくはWEBサイトをチェック



資質向上のための研修



第1回研修会



第2回研修会

2022年度は、地域医療を担う看護師等の資質向上の一翼を担うために2回の研修会を開催しました。この2回の研修会は、内容に応じて大学附属病院で働く看護職だけではなく、県内の医療機関等で働く看護職等に研修会への参加を呼びかけておりますが、感染症の流行のため2回とも遠隔操作を用いて行いました。その結果、第1回研修会の参加者は18人、第2回研修会の参加者が36人でした。それぞれの研修会の詳細は、以下のとおりです。

第1回研修会

■研修会の主旨

看護師は、看護の実践にあたって、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、そして平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められている。その一方で、実践の現場では、それら患者さんの権利と相対することに遭遇することは稀ではなく、理想と現実との間のジレンマがある。看護師は、自己の実践を振り返り、看護の専門職として引き受ける責任について、学習による能力の開発・維持・向上に努めることが重要である。そこで第1回目は、看護系大学院で学び、専門看護師として活躍している講師を招き、研修会を開催する (Web開催)。

■テーマ 臨床倫理のモヤモヤ、解決するヒント! :これは、本当に患者さまのため? 何のため?

■日時 2023年1月11日 (水) 17:30~19:00

■対象 大学附属病院および会津医療センターの看護職、その他関心のある全教職員・大学院生・学生

■内容 講演および質疑応答
講師 井上貴見氏 (福島県立医科大学附属病院 看護部) Ns, PHN, Ms, CNS (急性・重症患者看護)

第2回研修会

■研修会の主旨

日本では、現在、国民の二人のうち一人ががんに罹患するとされており、誰もが安心かつ納得できる医療や支援を受けることができるように期待されている。そのため、病棟・外来・在宅療養の場において、がん患者さんの治療や療養支援に関わる看護職には、その質の向上が期待されている。そこで、第2回目は、緩和ケアにおける看護実践に関する知識と技術の向上に役立ててもらうため、日頃から、がん患者さんの治療および療養に緩和ケア認定看護師として参加している講師を招き、研修会を開催する (Web開催)。

■テーマ 緩和ケア 看護師だからできること

■日時 2023年3月17日 (金) 17:30~18:30

■対象 大学附属病院および会津医療センターの看護職、および関心のある全教職員・大学院生・学生・福島県内病院内の医療職

■内容 講演および質疑応答

講師 大森あゆみ氏 (福島県立医科大学附属病院 看護部) Ns, PHN, Ms, 緩和ケア認定看護師

■就職ガイダンス等

看護学部生を対象に、県内の医療機関等を対象とした就職ガイダンスを実施しています。



2022年度は、県内の主要な医療機関等が参加した就職ガイダンスを対面とZoomを活用したオンラインにより実施し、学生が今後の自分の将来像について考える契機となる事業を実施しました。

就職ガイダンスは、単に就職を目的とするだけでなく、県内医療機関の現状を知るための機会と位置付けております。

■2022年度 就職ガイダンス

月日	内容	参加対象
2月1日 2月8日	就職ガイダンス ・県内の主要な医療機関等 民間病院等12機関、ほか県立病院 相双地区3町村 ・本学附属病院、会津医療センター附属病院 ・保健師 (県庁)・看護師 (県庁病院局)	本学 看護学部 3年次生

Message

看護学の知識と技術を統合し、主体的に活動する看護専門職を育成・支援します。

近年は災害が日本各地で発生する、感染症による広い地域での健康危機が生じるなど、複雑な社会状況にあります。このような状況下では、看護学の知識と技術を研鑽し、それを統合し、社会の要請に応える主体的な看護活動が求められます。

現在、看護職は医療を始め福祉、保健、教育などの幅広い分野で活動していますが、さらにそれぞれの活動分野の質を高める必要があります。この看護学教育研修部門では、看護の魅力を発信して看護職の確保を支援し、地域医療に貢献する質の高い看護職の育成と支援を目指しています。

医療人育成・支援センター
看護学教育研修部門長
高瀬 佳苗



医療人となるための臨床技術を学ぶ授業

保健科学教育研修部門は、2021年の保健科学部開設に伴い設置されました。理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、そして臨床検査技師の4職種の育成を行う本学部では、学部全体およびそれぞれの学科で工夫を凝らした授業が展開されています。

臨床技術基礎演習

4学科合同で入学してすぐの時期に、1年生を対象に集中講義の形式で開講しています。医療接遇、高齢者や障がい者体験、患者移動法、清潔・不潔の概念とカウンテクニク、感染制御、心電図の計測と見方、応急手当など、医療人として必要とされる基礎医学技術などを学科に関係無く全ての学生が習得すべき普遍的な知識として学びます。学生の評価も高く、医療系大学へ入学したことを真に実感できる授業です。

臨床実習

医療人となるために臨床実習は必須ですが、本学部でも学科に応じて1年から4年まで多くの臨床実習が開講されます。県内の医療施設や介護・福祉施設等のご協力をいただき、質の高い実習をできるよう教員一同努力しています。



OSCE(客観的臨床能力評価試験)

学科によって異なりますが、3年生や4年生でOSCEを行う科目が用意されています。ご協力いただく模擬患者(SP)の会(HOPE会)が結成され、県内各地より60名を超えるボランティアの方々にご登録いただき、SP養成講座が開かれています。

県内関係者のための研修会の実施

保健科学部で養成する医療職種の地域医療への関わりと貢献についての理解を深めるため、2回の研修会を実施しました。

第1回研修会は1月26日に「医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト・シェアの推進は何を変えるか?—診療放射線技師と臨床検査技師の場合—」というテーマで、第2回研修会は3月1日に「小児疾患患者への対応を知り、外来・訪問リハや放課後等デイサービスの対象者を広げよう!—誰でもできる、初めにやっておきたい小児疾患患者への対応のイロハ—」のテーマでweb開催し、両回とも70名近いご参加をいただきご好評いただきました。

Message

4職種の特徴を活かした
医療技術者の育成・支援を目指します。

保健科学部が開設されて3年が経過し、4学科における医療人育成がますます活気を帯びてきています。1期生が3年生になり、臨床実習やOSCEも本番を迎えると共に、進路指導も本格的に始まります。このような中で、学部全体、あるいは各学科に対してどのような育成支援ができるかについて考え、関係の皆様のご指導をいただきながら医療技術者の育成・支援を進めて参ります。

医療人育成・支援センター
保健科学教育研修部門長 久保 均



災害医療総合学習センター(Education Center for Disaster Medicine)は、東日本大震災及び原子力災害により被害を受けた県内医療体制の再生や放射線の影響等に係る教育、研修体制の充実、人材確保を図るため2012年5月に福島県立医科大学医療人育成・支援センター内に設置されました。当センターでは、災害医療に関する知識や技能の習得にとどまらず、今後福島で長く続く放射線災害と向き合っていく医療人の育成も行っています。

教育

BSL(臨床実習)

本学医学部5年生に対する臨床実習(BSL)において、放射線被ばく医療の基礎知識のほか、患者対応や生活における放射線リスクの相場観習得を目標に講義・実習を行っています。福島第一原発事故後に我々が直面した放射線に関する課題を、臨床実習における模擬患者演習へ応用し、震災後の放射線問題をより身近に、そして主体的に考えて頂けるよう留意しています。



地域貢献

福島災害医療セミナー

本学及び県内の協力機関における講義・実習等を通じ、災害医療・放射線被ばく医療の知識及び技術を備え、災害時に活躍できる医師・看護師等の育成を行っています。また、放射線に関する不安を抱える人々から相談を受けることの多い医療関係者、行政関係者の皆様に対して放射線に関する最新の知識・情報を提供することも併せて本セミナーの目的としています。



Message

災害復興の最前線で活躍できる
エキスパートの教育・研修体制を確立するために
当センターは全力を尽くします。

本センターは、災害医療・放射線被ばく医療の最前線で実践的に対応できるエキスパート育成のための教育・研修体制を確立することを目指しています。本学の学生、県内の医師・看護師・保健師はもちろん、全国から災害医療・放射線被ばく医療を学びたいと希望するあらゆる地域や職種の皆様をセミナーに受け入れております。また、チェルノブイリ原子力発電所事故の被災者の支援を続けているベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学とも協定を結び、医療関係者・大学関係者を受け入れております。(2023年4月現在休止中)

本学は国の高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターに指定されており、災害・被ばく医療科学共同大学院が設置され、放射線災害に関連する教育の取組は益々重要な教育基盤となっております。福島事故の経験と反省をもとにした我々の活動が震災復興の一助となり、育った人達が災害医療の優れた担い手となることを願っています。

災害医療総合学習センター
センター長 長谷川 有史



臨床研修・専門医研修

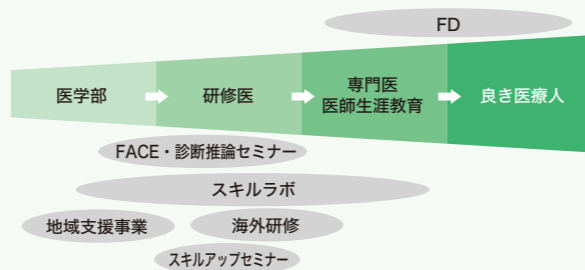
次世代の担い手となる、良き医療人を育成するために
～充実した臨床研修と教育支援体制～

福島県立医科大学附属病院では、豊かな知識と確かな医療技術を身につけ、患者さんへの温かなまなざしを持った医師を養成すべく、全国から多くの研修医を受け入れています。医師臨床研修制度においては「EBM(Evidence-Based Medicine)に基づいた基本に忠実な研修」を、一般病院等では「救急医療やcommon disease」を学ぶことができるようにするなど魅力的な研修体制を構築しています。さらに2018年4月からスタートした専門医制度(※)にも対応しており、卒後5～7年間の専門医取得までの一貫した研修体制も整備しました。

「医療人育成・支援センター」は、医療人として社会で活躍する人材を養成し、トータルに支援する機関として、卒前教育から卒後臨床研修、医師としての生涯教育に至るまで様々な取組を行い、「良き医療人」を育てています。(右図参照)

臨床医学教育研修部門は、優れた医師としての基礎を築くために附属病院臨床医学教育研修センターと共に最適な研修プログラムの充実に努め、研修医が有意義な研修生活を送ることができるよう支援しています。

※現行制度における専門研修プログラムの運用は、各診療科(プログラム)となります。



病院での身分	臨床研修	専門医研修 (専門研修プログラム)		助手
	臨床研修医	専攻医	病院助手	
大学との関係	大学院生(併願可) 大学院研究生(併願不可)	大学院生(併願可) 大学院研究生(併願可)		
	1年目 2年目	3年目 4年目	5年目 6年目 7年目 8年目 9年目以降	
			↑ 医学博士号取得	

臨床研修の特徴

1. 柔軟性をもったプログラム

研修医のニーズに柔軟に対応するため、4つのプログラムとすべての診療科から1ヶ月単位で自由に選択でき、さまざまな診療科を院内外で研修できます。

2. 充実した病院群

100を超える地域の臨床研修病院・施設と連携し、大学院においては「EBM(Evidence-Based Medicine)に基づいた研修」を、協力病院等では「救急医療やcommon diseaseを経験できる研修」を受けることができます。

3. プライマリ・ケア研修の充実

総合内科・総合診療医センターでの研修を必修とした他、内科指導医による地域病院・診療所での外来研修等、第一線のプライマリ研修も行っています。

4. 臨床研修・専門研修の一貫した研修体制

将来の専門医取得まで見据えた臨床研修2年間、専門医研修の3～5年間の一貫した研修を受けることができます。

5. メンター(相談員)制度

各プログラムともメンター制度を導入し、2年間の研修をトータルに支援します。メンターは自由に選択でき、変更も可能です。

6. 社会的身分の保障等

協力病院で研修する場合でも、研修医は当院の職員としての身分で派遣されるため、給与や社会保険等の一貫した保障が受けられます。

※ただし、プログラムB及びプログラムCの派遣時は、協力病院の身分等となります。

専門医研修プログラムの特徴 研修期間3～5年

- 希望する専門医が効率的に取得できるよう、基本領域の各プログラム責任者等が研修プログラムや研修計画策定の支援やプログラムの進捗管理により、最適な研修を行うことができます。
- 当院では、全ての基本領域において、基幹施設となっておりますが、研修協力病院と密に連携して研修を行うため、専門医資格取得に必要な症例、症状等を豊富に経験することが可能です。
- 専攻医は大学院、大学院研究生の併願が可能のため、安定した身分・処遇で働きながら大学院教育を受けることが出来、充実した専門医研修が行えます。

詳しくはWEBサイトをチェック



RESEARCH

STORIES

情熱の最前線へ。

福島県立医科大学では、高度な医療人の集う日本トップレベルの臨床研究・治験拠点となり最先端の医療を県民に提供するとともに、福島県全体の医療水準を向上させる臨床研究・治験ネットワークの中核拠点を目指しています。医療人としての使命と情熱から生まれた独創的な研究成果は、医療の明日に大きく貢献しています。



福島県立医科大学の研究成果をCHECK!



公立大学法人
福島県立医科大学

CLUB & CIRCLE

学年や学科を超えて、仲間と過ごす時間は一生の宝物。体育会系から文化系まで、思い思いのスタイルでキャンパスライフを楽しんでいます。



みんなで熱く盛り上がる!



ストリートダンスサークルZACC



スキー部



ワンダーフォーゲル部



囲碁部



弓道部



福島県立医 剣道部、学剣道部



卓球部



漕艇部



柔道部



ギター部



プライマリケアを学ぼう会



混声合唱団「燦」



女子バスケットボール部



ラグビー部



FMU PR-Lab



管弦楽団



ウィンドアンサンブル同好会

運動部

アーチェリー部、新極真空手部、弓道部、剣道部、硬式庭球部、ゴルフ部、男子サッカー部、山岳部、柔道部、水泳部、競技スキー部、スピードスケート部、軟式テニス部、剣道部、卓球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、バドミントン部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、漕艇部、準硬式野球部、ラグビー部、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部、ハンドボール部、女子サッカー部、自転車部

文化部

囲碁部、管弦楽団、基礎医学研究会、ギター部、軽音楽部、混声合唱団「燦」、赤十字奉仕団、写真部、落語研究部

同好会

JUST FIT BAR、茶道部、ピアカウンセリング研究会、ストリートダンスサークルZACC、プライマリ・ケアを学ぼう会、アカペラサークル阿修羅、ウィンドアンサンブル、IFMSA-Fukushima、Cheers!、文芸サークル肋骨スタジオ、Fukushima WILL、ふくしまめぐみ病院、ジャズ研究会、フリースノーボードサークル 540°、日本酒研究会、POMk Project、蓬莱技術研究機構、論文愛好会MOO会、ボランティアサークルTomorrow、演劇部、FMU PR-Lab、球技サークル、軟式野球部、カードゲームサークル

学生自治会

本学の学生自治会は学生が運営しているもので、主な取組として、クラブ活動の助成、新入生歓迎会、学園祭(光が丘祭、光翔祭)の運営などを行っています。クラブは現在28の運動部と9の文化部、24の同好会があり、どの部も活発に活動を行っています。また、多くの学生が2つ以上のクラブ、同好会に参加しており、充実した学生生活を送っています。

CAMPUS MAP

福島県立医科大学のある福島市光が丘は、福島市の中心部から南へ車で約20分の丘陵地にあり、豊かな自然に恵まれた環境で敷地面積は約38ヘクタールあります。2021年に新設された保健科学部は、福島市の中心地区にありアクセスの良さが魅力です。

光が丘キャンパス

- ① 1号館(管理棟)
- ② 2号館(臨床医学系研究棟)
- ③ 3号館(生命科学・社会医学系研究棟)
- ④ 4号館(総合科学系研究棟)
- ⑤ 5号館(福利厚生棟・講義棟・実習棟)
- ⑥ 6号館(講義棟)
- ⑦ 7号館(光が丘会館(同窓会館))
- ⑧ 8号館(看護学部棟)
- ⑨ 9号館(医療研修センター)
- ⑩ 10号館(医学部附属研究施設)
- ⑪ 11号館(臨床講義棟)
- ⑫ 12号館(新実習棟)
- ⑬ 8号館WEST(助産師養成施設)

福島駅前キャンパス

福島県立医科大学 保健科学部



キャンパス内を
バーチャル360°体験!

スマホで
Check!



附属学術情報センター(図書館・展示館)



附属学術情報センター



保健科学部図書室

附属学術情報センターは、図書館、展示館そして、情報教育および情報ネットワークの機能を持っています。図書館には医学、看護学および医療分野の専門的資料を中心に240,000冊の蔵書、7,700種の雑誌、約10,000タイトルの電子ジャーナル、7,200タイトルの電子ブック(令和4年3月末現在)を擁し、最新の情報を提供しております。令和3年4月保健科学部設置に伴い福島駅前キャンパスの2階に図書室を開設しました。展示館には、ヒトの体のしくみを学ぶ各種標本、模型等が展示されており、教育・研究に利用されています。大学(光が丘と福島駅前キャンパス)には学内LANが整備され、電子メール、Web閲覧、グループウェアの利用などの情報サービスを提供しています。

附属学術情報センター(光が丘キャンパス)

階数	内容
2	図書館 閲覧室・情報検索室・情報管理室・個室 展示館 標本展示室・視聴覚教育室
1	図書館 書庫・閲覧室・自由閲覧室・個室

保健科学部図書室(福島駅前キャンパス)

階数	内容
2	ラーニングcommons・グループ学習室・閲覧室

ヒポクラテスの樹

医聖ヒポクラテスが木陰で医学を教えたという伝説から「ヒポクラテスの樹」とも呼ばれるプラタナス(すずかけ)の木です。医療系大学のシンボルツリーとして知られていますが、福島県立医科大学のプラタナスは伝説発祥の地・ギリシアのコス島生まれの由緒ある木です。



8号館



5号館



ヘリポート

※敷地内は全面禁煙です。

FACILITIES

1号館（管理棟）

福島県立医科大学の運営をはじめ、経営企画などを行っています。

	階数	
理事長室 副理事長室 ふくしま国際医療科学 センター長室	3	企画・管理運営担当理事室 経営・内部統制担当理事室 総務課 企画財務課 地域医療支援センター
復興推進課 ふたば救急総合医療 支援センター	2	医療情報部 総務課(大学管理)
総務課 (管財、施設)	1	医学部長室 病児病後児保育所「すくすく」 第一カンファランス



1号館玄関ホール

5号館（福利厚生棟）



食堂



学生ホール

5号館には、学生ホール、談話室、食堂などがあり、学生生活や学生活動をサポートしています。

階数	
2	学生ホール・第7、第8講義室
1	食堂・教育研修支援課



5号館(福利厚生棟)

講堂



ホール

座席数500のホールを中心に控室や小会議室などがあります。照明や音響設備も充実しており、学内行事等に利用されています。



講堂

7号館（光が丘会館）

医学部卒業生より寄附された同窓会館です。大会議室、小会議室などを備えています。学術総会や同窓会など、福島県立医科大学のさまざまなイベントの会場として幅広く利用されています。



売店



ブックセンター



7号館外観

12号館（新実習棟）

学生が広いスペースで日々実習に励んでいます。

階数	
3	化学・微生物・免疫学実習室
2	物理学・多目的実習室
1	組織学・病理学実習室



12号館外観

体育館・運動施設



プール



体育館



武道館



テニスコート



野球場

体育館には、体育室、プール、柔道・剣道場および各個室を備えています。屋内の50mプールは温水可能な施設となっています。また、陸上競技場は400mトラックのほか、各種競技のための設備が整備されています。このほか、野球場や弓道場、アーチェリー場、テニスコートなど各種設備が充実しています。

階数	
3	武道館 柔道部・剣道部・空手部・写真部・基礎医学研究会・ゴルフ部 山岳部・アーチェリー部・ラグビー部・軽音楽部・混声合唱団管弦楽団 スピードスケート部・ギター部・ウインドアンサンブル
2	体育館 バスケットボール部・スキー部・囲碁部・赤十字奉仕団 バレーボール部・バドミントン部・ワンダーフォーゲル部・卓球部 水泳部・軟式テニス部・硬式庭球部・漕艇部・準硬式野球部 サッカー部・陸上競技部・ハンドボール部
1	プール



体育館外観

DATA データで見る福島県立医科大学

■医学部

年度	区分	募集人員	志願者	第1次選考 受験者	第1段階選考 合格者※	2次試験 受験者	入学者	実質 倍率	入学者内訳						
									地域別		男女別		卒業期別		
									県内	県外	男性	女性	新卒	既卒	
令和4年度	前期	一般枠 地域枠	45 30	386	—	332	278	46 30	3.3倍	3	43	31	15	23	23
	推薦入試	総合型	50	157	—	—	152	46	3.3倍	31	15	27	19	30	16
		総合型	5	29	27	16	16	5	3.2倍	3	2	3	2	5	0
		海外教育	若干名	7	—	—	5	3	1.3倍	0	3	1	2	0	3
		外国人留学生	若干名	1	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
令和5年度	前期	一般枠 地域枠	45 30	594	—	333	260	47 30	3.1倍	1	46	29	18	26	21
	推薦入試	総合型	50	135	—	—	132	46	2.9倍	31	15	28	18	31	15
		総合型	5	17	17	15	15	5	3.0倍	4	1	4	1	5	0
		海外教育	若干名	5	—	—	4	2	2.0倍	0	2	1	1	0	2
		外国人留学生	若干名	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※総合型は第1次選考合格者数

■看護学部

年度	区分	募集人員	志願者	2次試験 受験者	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
							地域別		男女別		卒業期別	
							県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和4年度	前期	44	120	115	44	2.3倍	22	22	6	38	40	4
	後期	10	135	49	10	4.5倍	5	5	1	9	9	1
	推薦入試	30	59	59	30	2.0倍	30	0	1	29	30	0
令和5年度	前期	44	132	120	44	2.5倍	20	24	10	34	38	6
	後期	10	147	53	10	3.5倍	7	3	2	8	7	3
	推薦入試	30	52	52	30	1.7倍	30	0	1	29	30	0

※令和4年度から「社会人」廃止

■保健科学部

年度	学科	区分	募集人員	志願者	第1段階 選考合格者	第2段階 選考受験者	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
									地域別		男女別		卒業期別	
									県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和4年度	理学療法学科	一般選抜	24	56	56	53	24	2.1倍	6	18	14	10	21	3
		学校推薦型選抜	16	23	—	—	16	1.4倍	16	0	5	11	16	0
	作業療法学科	一般選抜	24	30	30	25	22	1.0倍	10	12	6	16	22	0
		学校推薦型選抜	16	29	—	—	16	1.8倍	16	0	2	14	15	1
	診療放射線科学科	一般選抜	15	118	60	60	15	4.0倍	6	9	8	7	12	3
		学校推薦型選抜	10	26	—	—	10	2.6倍	10	0	3	7	10	0
臨床検査学科	一般選抜	24	102	96	89	24	3.3倍	7	17	8	16	10	4	
	学校推薦型選抜	16	32	—	—	16	2.0倍	16	0	5	11	16	0	
令和5年度	理学療法学科	一般選抜	24	38	38	35	24	1.4倍	8	16	13	11	24	0
		学校推薦型選抜	16	27	—	—	16	1.7倍	16	0	7	9	16	0
	作業療法学科	一般選抜	24	59	59	52	22	2.0倍	9	15	9	15	24	0
		学校推薦型選抜	16	20	—	—	16	1.3倍	16	0	3	13	16	0
	診療放射線科学科	一般選抜	15	85	60	56	15	3.7倍	6	9	9	6	11	4
		学校推薦型選抜	10	24	—	—	10	2.4倍	10	0	5	5	10	0
臨床検査学科	一般選抜	24	149	96	85	24	3.4倍	4	20	6	18	22	2	
	学校推薦型選抜	16	37	—	—	16	2.3倍	16	0	3	13	16	0	

■別科助産学専攻

年度	区分	募集人員	志願者	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
						地域別		男女別		卒業期別	
						県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和5年度	一般選抜	10	53	10	5.3倍	3	7	—	10	7	3
	推薦選抜	10	32	10	3.2倍	6	4	—	10	10	0

■入学者の出身高校所在地別内訳

(令和5年度)

1 北海道	医 3 看護 2 保 2
2 東北	医 1 看護 2 保 6
3 関東	医 6 看護 4 保 5
4 甲信越	医 3 看護 3 保 6
5 中部・東海	医 2 看護 5 保 1
6 近畿	医 1 看護 3 保 1
7 中国・四国	医 1 看護 1 保 1
8 中国・四国	医 1 看護 1 保 1
9 九州	医 1 看護 1 保 1
海外	医 2 看護 2



■入学科・授業料・諸会費等

(1) 入学科・授業料

入学科	区分	医学部	看護学部	保健科学部	別科助産学専攻	
		福島県の住民	282,000円	282,000円	282,000円	169,200円
		福島県の住民でない者	846,000円	564,000円	564,000円	338,400円
授業料	区分なし	535,800円	535,800円	535,800円	535,800円	

※入学科、授業料の改定が行われた場合は改定後の金額を適用します。※経済的理由により納付が困難な場合は、選考の上免除または減額する制度があります。

(2) 諸会費等

区分	医学部	看護学部	保健科学部	別科助産学専攻
後援会費	300,000円	100,000円	150,000円	25,000円
学生会費	10,000円	7,000円	7,000円	—
同窓会費	42,000円	卒業時 10,000円	—	—
学生総合償還制度掛金	72,000円程度(コース例)	52,000円程度(コース例)	52,000円程度(コース例)	16,000円程度(コース例)

※その他、テキスト、実習用器具等の購入経費及び実習に関わる経費が必要となります。※改定される場合があります。

修学資金制度 卒業後一定期間の勤務を条件として貸与された修学資金の返還が免除される制度(福島県緊急医師確保修学資金、福島県保健師等修学資金、福島県理学療法士等修学資金)があります。その他、各地方自治体、各種団体などによる修学資金制度もありますので、詳しくはお問い合わせください。(令和5年度現在)

■大学生数

(令和5年 5.1 現在)

区分	学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
		医学部	44(15)	46(20)	46(14)	45(19)	42(11)	40(15)
看護学部	県内	89(33)	93(26)	85(28)	92(25)	92(28)	90(32)	541(172)
	県外	133(48)	139(46)	131(42)	137(44)	134(39)	130(47)	804(266)
保健科学部	理学療法学科	57(49)	61(55)	62(60)	58(50)	—	—	238(214)
	作業療法学科	29(23)	27(23)	20(19)	22(20)	—	—	98(85)
別科助産学専攻	県内	26(14)	21(12)	22(15)	—	—	—	69(41)
	県外	16(7)	17(4)	18(6)	—	—	—	51(17)
学部合計	県内	42(21)	38(16)	40(21)	—	—	—	120(58)
	県外	25(17)	33(24)	23(19)	—	—	—	81(60)
臨床検査学科	県内	16(11)	9(8)	11(8)	—	—	—	36(27)
	県外	41(28)	42(32)	34(27)	—	—	—	117(87)
診療放射線科学科	県内	16(5)	15(6)	16(10)	—	—	—	47(21)
	県外	9(6)	10(5)	9(4)	—	—	—	28(15)
臨床検査学科	県内	25(11)	25(11)	25(14)	—	—	—	75(36)
	県外	20(14)	20(18)	23(16)	—	—	—	63(48)
別科助産学専攻	県内	20(17)	20(19)	17(11)	—	—	—	57(47)
	県外	40(31)	40(37)	40(27)	—	—	—	120(95)
学部合計	県内	9(9)	—	—	—	—	—	9(9)
	県外	11(11)	—	—	—	—	—	11(11)
学部合計	県内	20(20)	—	—	—	—	—	20(20)
	県外	197(126)	192(132)	195(136)	103(69)	42(11)	40(15)	769(487)
学部合計	県内	190(105)	180(88)	157(76)	114(45)	92(28)	90(32)	823(374)
	県外	387(231)	372(220)	352(212)	217(114)	134(39)	130(47)	1,592(861)

※()内は女子学生数で内数

■学位(博士[医学])授与者数(平成3年~)

(令和5年 5.1 現在)

区分	年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	計
		大学院	7	6	12	13	15	3	11	10	6	10	19	12	19	9	16	20	21	21	25	25	22	19	23	19	31	28	26	26	24	29	44	30
論文	23	48	29	88	39	61	31	30	54	32	23	24	23	16	41	25	15	18	11	11	12	11	12	2	7	8	7	11	4	8	7	9	740	
計	30	54	41	101	54	64	42	40	60	42	42	36	42	25	57	45	36	39	36	36	34	30	35	21	38	36	33	37	28	37	51	39	1,341	

■学位(修士)授与者数

(令和5年 5.1 現在)

区分	年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	計
		医学部	—	—	—	—	—	—	6	9	5	6	4	5	7	5	3	10	6	8	5	8
看護学部	5	5	1	5	6	5	8	10	1	18	10	6	8	3	7	7	8	3	7	6	129	
災害・被災(医療科学)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	11	6	5	7	4	40	

■卒業生の状況 医学部(平成12年~)

(令和5年 5.1 現在)

卒業回数	卒業年度	卒業生数	地 域 別		県 内						不明	死亡
			県外	県内	本学	開業医	公立病院	その他病院	その他			
48	12	78	35	40	23	—	2	14	1	3	—	
49	13	73	38	31	16	—	2	13	—	4	—	
50	14	77	46	29	18	—	3	6	2	2	—	
51	15	85	38	42	16	—	2	17	7	5	—	
52	16	73	40	30	16	—	1	12	1	3	—	
53	17	79	47	30	13	—	4	11	2	2	—	
54	18	82	48	33	12	—	—	19				

■卒業生の状況 看護学部

(令和5年・5.1現在)

卒業回数	卒業年度	卒業生数	地域別		県内				
			県外	県内	県	市町村	公立病院	その他病院	その他
1	13	87	57	30	10	4	1	15	—
2	14	86	60	26	12	1	2	11	—
3	15	83	43	40	15	—	3	18	4
4	16	81	47	34	10	1	2	21	—
5	17	90	51	39	2	1	14	19	3
6	18	88	47	41	—	2	21	17	1
7	19	89	46	43	2	1	25	15	—
8	20	83	47	36	—	3	17	15	1
9	21	92	52	40	—	1	13	23	3
10	22	92	37	55	—	2	27	22	4
11	23	89	49	40	—	2	22	14	2
12	24	88	43	45	3	4	20	18	—
13	25	83	34	49	4	3	21	19	2
14	26	72	28	44	2	5	29	8	—
15	27	85	26	59	1	7	40	8	3
16	28	86	32	54	1	9	33	7	4
17	29	87	33	54	3	6	31	8	6
18	30	79	39	40	1	6	27	5	1
19	元	80	28	52	1	5	35	7	4
20	2	84	22	62	3	8	40	8	3
21	3	83	28	55	3	5	36	7	4
22	4	84	29	55	2	4	42	3	4

■国家試験の状況 [過去5年分]

医師国家試験年次別合格者(総数)

実施年	元	2	3	4	5
回数	113	114	115	116	117
受験者(人)	146	141	130	139	132
合格者(人)	132	134	119	128	126
合格率(%)	90.4	95.0	91.5	92.1	95.5
全国合格率(%)	89.0	92.1	91.4	91.7	91.6

医師国家試験年次別合格者(新卒者・既卒者別)

実施年	元	2	3	4	5
回数	113	114	115	116	117
新卒者					
受験者(人)	143	126	123	129	122
合格者(人)	131	122	115	121	122
合格率(%)	91.6	96.8	93.5	93.8	100.0
既卒者					
受験者(人)	3	15	7	10	10
合格者(人)	1	12	4	7	4
合格率(%)	33.3	80.0	57.1	70.0	40.0

福島県立医科大学の合格順位(総数(新卒・既卒))

実施年	元	2	3	4	5
回数	113	114	115	116	117
公立(8校)中	6	6	7	6	2
国公立(51校)中	31	14	32	27	8
全大学(80校)中	47	26	49	44	20

保健師国家試験の合格状況

実施年	元	2	3	4	5
受験者(人)	79	80	84	83	42
合格者(人)	65	78	83	78	41
合格率(%)	82.3	97.5	98.8	94.0	97.6
全国合格率(%)	88.1	96.3	97.4	93.0	96.8

助産師国家試験の合格状況

実施年	元	2	3	4	5
受験者(人)	6	6	5	5	5
合格者(人)	6	6	5	5	5
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国合格率(%)	99.9	99.5	99.7	99.7	95.9

看護師国家試験の合格状況

実施年	元	2	3	4	5
受験者(人)	79	80	84	83	84
合格者(人)	78	79	83	82	82
合格率(%)	98.7	98.8	98.8	98.8	97.6
全国合格率(%)	94.7	94.7	95.4	96.5	95.5

■学生生活・入学試験に関するお問い合わせ先

医学部・看護学部

公立大学法人福島県立医科大学 教育研修支援課
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 入試係 024-547-1093
e-mail nyushi@fmu.ac.jp

保健科学部

公立大学法人福島県立医科大学 保健科学部事務室
〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号
TEL 入試・企画係 024-581-5508
e-mail h-nyushi@fmu.ac.jp

学生寮

学生に学習面と生活面における良好な環境を提供するため、平成28年4月に開寮しました。学生寮は、学部や学年の垣根を越えて集団生活をする事により、対人関係を学ぶとともに、地域や他者との交流をしていく中で豊かな人間性を養うことができる場です。

〈学生寮の概要〉

- ・所在地 福島市渡利字大久保60番地1
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造り3階建て
- ・定員 84名(男子42名、女子42名)
- ・寮室 面積約30㎡、3人の相部屋(寝室は個室)冷暖房完備
- ・食事提供 あり(平日の朝食及び夕食)
- ・寄宿料等 月額49,000円

※1 令和5年5月現在の金額です。
※2 朝・夕の食事代、光熱水費、インターネット使用料等込みの金額です。



ずっと頑張ってきたから、
心から笑える瞬間がある。

Smile!
2023

今すぐ
アクセス!

福島県立医科大学の
最新情報は
WEBでチェック!

WEB OPEN CAMPUS



FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2023



医学部・看護学部・別科助産学専攻

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 024-547-1111(代表) <https://www.fmu.ac.jp>

保健科学部

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号
TEL 024-581-5503 <https://www.fmu.ac.jp>

入試等についてのお問合せは…

- 医学部・看護学部に関すること
教育研修支援課(入試係) TEL024-547-1093
- 保健科学部に関すること
保健科学部事務局(入試・企画係) TEL024-581-5508
- 別科助産学専攻に関すること
教育研修支援課(看護教務係) TEL024-547-1806



JR福島駅東口から徒歩5分



- 【車】東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、
福島松川スマート I.C.より約8分
- 【バス】JR福島駅東口バス乗り場
(5番または6番ポール)より乗車、
「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)

会津医療センター

〒969-3492
福島県会津若松市河東町
谷沢字前田21番地2
TEL 0242-75-2100(代表)
FAX 0242-75-2150(総務課)
<https://www.fmu.ac.jp/amc/>

